

独立行政法人 日本芸術文化振興会 委託事業

シンガポールにおける文化芸術活動に対する支援をはじめとする文化振興方策等に関する実態調査
別冊 関連文献

シンガポールアーツプラン 2023－2027年



Nomura Research Institute Singapore Pte. Ltd.

独立行政法人 日本芸術文化振興会 委託事業
シンガポールにおける文化芸術活動に対する支援をはじめとする文化振興方策等に関する実態調査
別冊 関連文献

シンガポールアーツプラン 2023—2027

インスピレーションを与える創造的な都市を目指して

関連文献(日本語訳)

〈原文献〉

Our SG Arts Plan 2023-2027

[https://www.nac.gov.sg/docs/default-source/our-sg-arts-plan-\(2023---2027\)/our-sg-arts-plan-2023---2027.pdf](https://www.nac.gov.sg/docs/default-source/our-sg-arts-plan-(2023---2027)/our-sg-arts-plan-2023---2027.pdf)

※日本語訳中、ゴールドに着色されている **P1**、**P2**、**P3** 等は、原文献の頁を表しています。

※脚注も原文に従い記載しています。

- 日本語訳の公開は、本調査の報告書としての公開を目的として、一定の条件で発行者から承諾を得ております。
- 原文献に用いられているコンテンツの内、著作権が第三者に帰属する写真・ロゴ・イラスト等は使用しておりません。
- 引用等には、著作権者である発行者にも必ずお問い合わせください。

令和6年5月 Nomura Research Institute Singapore Pte. Ltd.

「シンガポールアーツプラン(2023～2027)」 インスピレーションを与える創造的な都市を目指して

Copyright © 2023 National Arts Council All Rights Reserved.

本出版物のいかなる部分も、ナショナルアーツカウンシル(National Arts Council、NAC)の事前の許可なく、いかなる形式、いかなる手段によっても、制作または配布することを禁じます。

協力:文化コミュニティ青年省(Ministry of Community, Culture and Youth、MCCY)

目次

- 06 メッセージ・序文
- 16 エグゼクティブ・サマリー
- 26 共に旅する
- 34 変革の原動力と推進力
- 42 今後5年間にむけて
- 52 私たちの戦略の柱
- 84 私たちの強固な基盤
- 94 まとめ
- 98 補遺:成果を積み重ねて

メッセージ・序文

シンガポール・アート・ウィーク(Singapore Art Week、SAW)2023の一環としてナショナルギャラリーシンガポール(National Gallery Singapore)が開催した「ライト・トゥ・ナイト2023:今ここに(Light to Night 2023: Here and Now)」にて、ザ・アーツハウス(The Arts House)のファサードに投影されたプロジェクションマッピングを鑑賞する来場者たち。

芸術は創造性を育み、帰属意識を根付かせ、人々を結びつけ、シンガポールの存在を世界に示します

メッセージ

現代の芸術家は、先人たちの偉業を基盤として活動を行っています。今日のシンガポールの芸術は、建国当初から大きな進歩を遂げ、力強く、自身に満ちたものになりました。著名な活動家から新世代のクリエイターまで、たくさんの芸術家がシンガポールで活動しています。彼らはさまざまな形態で作品を作り、実験を繰り返し、境界線を押し広げています。海外から新しいアイデアを取り入れ、それをこの国の特色と融合させ、独自の新しい芸術を生み出しています。

芸術と芸術家はシンガポールになくてはならない存在です。現在進行中の取り組みである「フォワード・シンガポール(Forward Singapore)」の実施に伴い策定された「シンガポールアーツプラン(2023～2027)」は、ナショナルアーツカウンシル(NAC)が今後の道筋を描くためのセクター別のロードマップとなっています。

まず、芸術はつながりのある社会を形成する上で重要な役割を担っています。私たちの社会構造は絶えず変化するため、ひょっとすると若者の持つ価値観はその上の世代とは異なっているかもしれません。社会の期待や規範は常に移り変わるもので、見直しが必要とされます。

芸術は、社会全体が変化について考え、対話するための効果的な道筋を示し、私たちの帰属意識や幸福感に貢献します。芸術には、私たちのコミュニティを団結させ、シンガポール人としてのアイデンティティを確立させる力があります。

さらに、東洋と西洋の交差点にある特色ある都市であるシンガポールにおいて、芸術は、その日々の生活のダイナミズムと活気を高める上で重要な役割を果たしています。国民にとってはより魅力的な故郷、観光客にとっては魅力的な目的地へと、魅力ある都市づくりに貢献します。日常生活に芸術をより多く取り入れることを通じて、「シンガポールアーツプラン(2023～2027)」は、より住みやすく活気ある都市作りを目指す私たちの夢を実現する一助となることでしょう。

最後に、「シンガポールアーツプラン(2023～2027)」を通じて、シンガポールのクリエイティブエコノミーの未来を切り開き、雇用の創出につなげていきたいと考えています。テクノロジーやデジタル化を超えて、芸術的才能、卓越性、革新性によって文化芸術分野に持続可能性をもたらさなければなりません。クリエイティブエコノミー全体がアイデアと才能によって活性化されるよう、私たちは文化芸術分野および関連業界との協力を引き続き奨励していきます。芸術が新しいアイデア、テーマ、形態によって開花し、これらの作品が私たちの社会を刺激し、豊かにしてくれることを願っています。

「シンガポールアーツプラン(2023～2027)」は、単なる青写真ではありません。創造性を育み、帰属意識を根付かせ、人々を結びつけ、シンガポールの存在を世界に示してくれる芸術の力に対する私たちの信念の表明とも言えるものです。そしてこの計画の中心にあるのは「人」です。芸術家、観客、企業パートナー、教育者、慈善家、政策立案者、ボランティア、芸術愛好家...誰もが強固なエコシステムの重要な一部です。

本計画を策定するにあたり、数々の協議を重ねてきました。続いて私たちは今、ダイナミックで活力のある文化芸術分野の創造に参加するよう、すべての関係者に呼びかけています。共に芸術の力を活用することで、つながりのある社会、私たちの故郷を誇りに思えるような特色ある都市を作りあげ、シンガポールの人々の様々な理想を実現できると確信しています。

エドウィン・トン(Edwin Tong)
文化コミュニティ青年省大臣兼第二法相

2020年に公開された「14:7 Kali Bah」は、ダンスカンパニー「P7:1SMA」がゲイラン・スライ・コミュニティの物語、逸話、思い出にインスパイアされて制作したダンス・フィルムです。

「シンガポールアーツプラン(2023～2027)」の中心にあるのは「人」です。

序文

「シンガポールアーツプラン(2023～2027)」の中心にあるのは「人」です。この計画の策定過程では、包括性に重点が置かれ、文化芸術分野、官民のパートナー、一般市民など、16,500人以上の関係者と1年以上にわたる話し合いを行ってきました。芸術家、文化芸術団体のリーダー、公共および民間セクターのパートナーと意見交換を重ねたことで、シンガポールの芸術発展に対する彼らの願望や、芸術が社会、経済、そして私たちの日常生活においてどのような役割を果たすことができるかについての視点を理解することができました。

これらの対話から、「芸術のエコシステムを維持し、卓越した芸術性を育むために、私たちは何をしなければならないのか?」、「テクノロジーはどのように芸術家をサポートし、どのように新たなビジネスモデルに拍車をかけるのか?」、「多様な観客へのリーチを広げ、芸術鑑賞の機会をもたらし、バックグラウンドや能力に関係なく誰もが芸術に参加できるようにするには、誰と協力すればいいのか?」、「より多くの人々が芸術や関連分野でのキャリアを追求できるようにするには、どうすれば新たな道を切り開くことができるのだろうか?」、「両極化が進む今日の環境において、私たちはどのように芸術を活用し、自分自身を表現し、対話の場を作り、人々の絆を深めることができるのだろうか?」といった数々の疑問が生まれました。

本計画策定の最初のステップは、こういった疑問に対する答えを探ることから始まりました。多様な視点を集めることに時間と労力をかけたことで、今後5年間におけるエキサイティングなアジェンダを実現するための堅実な計画が策定できたと確信しています。

「シンガポールアーツプラン(2018~2022)」は、人々にインスピレーションを与え、地域社会を結びつけ、世界においてシンガポールの地位を確立するために不可欠な芸術の役割を支援することに重点を置いています。こうした取り組みのいくつかはすでに実を結び始めており、経済の不確実性、急速な技術の進歩、COVID-19の流行後の生活や働き方の変化の波といった外的圧力に対して、文化芸術分野が一定の足固めに役立っています。その他の取り組みは、過去の文化政策や文化戦略によって実現した偉業をさらに発展させたものです。

ゴー・スイー・チェン(Goh Swee Chen)
ナショナルアーツカウンシル 会長

ロー・エン・ティオン(Low Eng Teong)
ナショナルアーツカウンシル 最高経営責任者

P14, P15

過去5年間の取り組みと、エンゲージメント・セッションからのフィードバックをもとに、「シンガポールアーツプラン(2023~2027)」は、以下の3つの戦略的な柱に基づいて策定されています。

1. つながりのある社会

私たちは、芸術と文化を共有することで、緊密に結ばれたシンガポールコミュニティを築きたいと考えています。これは、教育、レジャー、年齢を超えたウェルビーイングなど、主要な生活分野に芸術を取り込むことによって達成されます。例えば、学校との関わりを深化し、より多くの生徒が幼い頃からアートギャラリーやパフォーマンスに親しむことができる環境づくりを目指しています。また、個人の寄付者や企業からの寄付をさらに呼びかけていきたいと考えています。

2. 特色ある都市

シンガポールが芸術のための活気ある空間で満たされ、芸術に触発された創造的な都市となることを私たちは思い描いています。様々な場所で創造性が開花できるように、政府機関や産業界のパートナーと協力し、芸術の創造や発表を支援し、観客とつながるための物理的・仮想的なスペースを提供する取り組みを強化していきます。

3. クリエイティブエコノミー

私たちは、芸術的才能がその卓越性と革新性を推進することができるよう支援するとともに、キャリアアップ、能力開発および習得、キャリアモビリティのための道筋の提供にも取り組んでいきます。また、雇用機会を増やし、クリエイティブな資産を収益化し、国際的な需要を拡大するための新たなビジネスモデルも模索していきます。

この計画の下での取り組みは、データとインサイト、テクノロジーとイノベーションの活用を支えられ、芸術の活躍の場を広げるための戦略的パートナーシップの構築によって推進されます。

「シンガポールアーツプラン(2023~2027)」は、喫緊の課題に取り組み、芸術家が芸術の分野で持続可能なキャリアを築ける道を開き、観客が芸術を鑑賞し、刺激を受けられる社会を作り上げることを目指しています。私たちは、このマスタープランを「生きた文化政策」として、芸術コミュニティのニーズの変化や、官民の新たなパートナーの参入、観客を巻き込む新しい方法などの導入に応じて進化させていきます。

芸術は、人間社会に不可欠なものです。芸術は、私たちのストーリー、私たちの意見、そして未来への希望を具現化してくれる存在だからです。集団的な努力と支援は、芸術における創造性、卓越性、ダイナミズムの新たなピークをもたらし、シンガポールを市民と観光客の双方にインスピレーションを与える創造的な都市へと導いてくれるでしょう。

スリ・ワリサン・ダンス・アンサンブル・シンガポール(Sri Warisan Dance Ensemble Singapore)とジグリ・ヤール・バングラ(Jigri Yaar Bhangra)によって結成された多文化舞踊団、「シンガポール・マルチ・エスニック・ダンス・アンサンブル(Singapore Multi-Ethnic Dance Ensemble)」は、2021年の「ASEAN加盟国のためのVIVA ASEAN(VIVA ASEAN for ASEAN)」にシンガポール代表として参加しました。

クレジット: Sri Warisan – Som Said Performing Arts Limited

P16

エグゼクティブ・サマリー

芸術活動家のリユー・ジアイ(Liew Jia Yi)。2011年の「シンガポール作家祭(Singapore Writers Festival)」の一環として始まった学校支援プログラム「ワーズ・ゴー・ラウンド 2022(Words Go Round 2022)」においてカナディアン・インターナショナル・スクール(Canadian International School)で行われたプログラム「小指で約束だよ、いい? (I Pinky Promise You, Okay?)」にて。

クレジット: Singapore Book Council

私たちのビジョン

インスピレーションを与える創造的な都市を目指して

芸術は、豊かでユニークな国民性に影響を与え、私たちがシンガポール人であることを定義する上で重要な役割を果たしています。音楽、ダンス、演劇、文芸、絵画—それがどんな形態であっても、芸術には私たちと多様な文化遺産を結びつけ、共有する経験を育む力があります。またそれは、私たちが暮らし、働き、遊ぶ場所をも変えてきました。街角の壁画から美術館や芸術センターに至るまで、芸術は私たちの街並みに個性を吹き込み、多文化である私たちのアイデンティティを際立たせます。

エネルギーに満ちた芸術産業は、人々をつなぎ、空間を活気づける芸術の力を補完するものです。また、優れたキャリアを提供し、シンガポールを特色ある都市、文化の中心地へと発展させる一助にもなっています。今後私たちは、持続可能な芸術のエコシステムを構築するために、より大きなクリエイティブエコノミーの可能性を活用していきたいと思っています。芸術家たちの能力を向上させるだけでなく、芸術産業を関係業界と結びつけ、新たな市場や新たな活動方法を開拓していきます。

1991年の設立以来、NACは芸術を推進してきました。その後20年間、私たちは「ルネサンスシティ報告書(Renaissance City Reports)」(2000、2004、2008年)によって時代の課題に取り組んできました。文化芸術戦略レビュー(Arts and Culture Strategic Review、ACSR)は、2010年から2025年までの長期的な方向性を示しています。ACSRを指針とした「シンガポールアーツプラン(2018 - 2022)」は、過去5年間の戦略的優先事項を示した計画です。

「シンガポールアーツプラン(2023～2027)」は、前回のアーツプランの成果の上に成り立っています¹。また、16,500人以上の文化芸術分野内外の関係者から寄せられた貴重なインプットを活用して策定されました。この計画では、私たちの調査から得られたデータとインサイト、および今後数年間に文化芸術分野に影響を与えると思われる将来的、技術的な動向に関する調査によって主な優先事項が設定されています。NACは、この計画を今後数年間、他の文化芸術分野と協力するための指針として構想しています。すでにいくつかのプロジェクトや計画が進行中ですが、私たちは今後数年間、芸術コミュニティと手を携えて、ここに示されたビジョンを具体化していきます。

シンガポール・アート・ウィークの目玉イベント、ナショナルギャラリーシンガポールによる「ライト・トゥ・ナイト2023:今ここに(Light to Night 2023: Here and Now)」。「ライト・トゥ・ナイト」は、国内外の芸術家による新しいアート・インスタレーションや光のプロジェクションが来場者の目を楽しませました。

¹「シンガポールアーツプラン(2018～2022)」の成果については、補遺を参照。

シンガポールアーツプラン:次なる章へ

「シンガポールアーツプラン(2023～2027)」は、シンガポールの文化芸術政策を導く今後5年間の戦略的ロードマップです。刻々と変化する世界において、芸術の機会と課題に対応するため、官・民・人(3P)セクターの総力を結集したものです。

シンガポールアーツプラン2023-2027

芸術戦略における重要なシフト

- 1.文化芸術分野が将来的にも持続可能であるために、産業の発展にエコシステム・アプローチを採用すること。これには、芸術エコシステムを繁栄させるために、芸術内外の関係者とともにパートナーシップを築くことが含まれます。
- 2.観客のニーズにさらに焦点を当て、観客が私たちの活動の中心になるようにすること。これには、あらゆるライフステージにおける芸術への理解、参加、消費の拡大が含まれます。
- 3.COVID-19の流行の時期に積み重ねた成果を確保するために、テクノロジーとイノベーションに投資すること。私たちは、芸術家や文化芸術団体のデジタル化と新しい観客のエンゲージメント方法を支援します。

2023年1月、ザ・アーツハウスで開催された「グロウイング・ホーム - ザ・アーツプランとあなたについてのショーケース (Growing Home: A showcase about The Arts Plan and You)」の共創プロジェクト「Better 2gather」の一環として展示された、テロック・ブランガーの住民によるアート作品を鑑賞するゲストたち。「シンガポールアーツプラン(2023～2027)」の準備には、一般の人々が関与しています。

クレジット: Island Boys

「シンガポールアーツプラン(2023～2027)」は、次の3つの戦略的な柱で構成されており、それぞれが目標を達成するための重要な優先事項によって推進されます。

つながりのある社会

シンガポールのアイデンティティが、私たちが共有する芸術と文化に支えられている社会。

重要な優先事項

+ 生涯を通じた芸術体験

あらゆる年齢層において、教育、レジャー、ウェルビーイングといった生活領域に芸術体験を組み込む。

+ 共有体験を通じたコミュニティの強化

戦略的パートナーシップとプログラムを通じて観客と芸術の接点を拡大し、コミュニティ内外の強い絆を育む。

+ サポート拡大のためのアドボカシーの推進

3Pセクター全体で芸術の社会的影響に対する理解を促進させる。多様化し拡大するパトロンからの芸術への貢献を奨励する。

ブリリアント・コーナース(Brilliant Corners)のリーダーシップの下、システム・ソブリン(System Sovereign)がプロデュースしたPOTLUCK ZINEは、トア・パヨ・イーストの住民が、アーティストのBAKED、ステイシー・タン(Stacy Tan)、チェリー・チャン(Cherry Chan)、ディジュリアン・チャン(Dju-lian Chng)、キアット(Kiat)、ステファニー・ペー(Stephanie Peh)と共同で制作したアート作品を紹介するコミュニティ・アート展だった。

分野を越えたアートスタジオであるシステム・ソブリン(System Sovereign)の指導のもと、トア・パヨ・イーストの住民たちは、個人的なストーリーを共有し、写真、文章、版画のスキルを身につけ、電子雑誌の作成とボイドデッキでの作品展示のために協力し合いながら、絆を深めていきました。このアートは、近隣でサイチョウが目撃されたという会話からインスピレーションを得たものです。

特色ある都市

芸術によって空間が活気づき、シンガポールを魅力的な故郷・魅力的な目的地とすることに貢献している。

重要な優先事項

+ 空間の多様化と開放

手ごろな価格の公共スペースやプライベート・スペースへのアクセスを増やし、シンガポール中の人々が生活し、働き、遊ぶ、より多くのスペースに芸術を取り入れる。

+ 芸術の場および地域の活性化

公共および民間セクターと協力し、革新的でユニークな芸術の場や地域を、芸術家や地元および世界の観客のために共同創造する。

+ あらゆる場所にアートに浸透

実世界、拡張現実(AR)、メタバースにおいて、芸術的で没入感のあるクリエイティブな都市を創造する。

植物園のショー財団シンフォニー・ステージ(Shaw Foundation Symphony Stage)でシンガポール華楽団(Singapore Chinese Orchestra)の演奏を楽しむ老若男女の観客たち。Arts@SBG NAC-エクソンモービル・コンサート・イン・ザ・ガーデンス・シリーズ(Arts@SBG NAC-ExxonMobil Concert in the Gardens series)の一環として。
クレジット: Singapore Chinese Orchestra

クリエイティブエコノミー

文化芸術分野が、芸術的才能、卓越性、革新性、そしてより大きなクリエイティブ産業との緊密な協力関係によって活性化されている。

重要な優先事項

+ 新たなビジネスモデルを築く

芸術とその関係業界の認知度と可能性を高め、雇用機会を増やす。

+ 芸術的卓越性の育成

芸術における持続可能なキャリアに必要な能力と開発経路を構築する。

+ 国際化の機会の拡大

グローバルにつながる文化芸術分野を開発する。シンガポールがクリエイティブな中心地であるという評価を確立し、地元の芸術に対する国際的な需要と市場を拡大する。

「バルプIII: 追放された本の略歴(Pulp III: A Short Biography of the Banished Book)」の凱旋展示会のインスタレーション。シュビギ・ラオ(Shubigi Rao)作、ウテ・メタ・パウアー(Ute Meta Bauer)監修。第59回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展(The 59th International Art Exhibition of La Biennale di Venezia)のシンガポール・パビリオンで初披露された作品。
クレジット: Alessandro Brasile

P24

「シンガポールアーツプラン(2023~2027)」は、以下の関係協力者によって支えられています

+ パートナーシップ

NACは、芸術内外の関係者のビジネス、社会、コミュニティ・セクターと新たなパートナーシップを築き、文化芸術分野を盛り上げるための多様な視点と戦略を得ることを目指しています。また、国際的なパートナーとのパートナーシップを強化し、アート・メイキング、アート・テクノロジー、リサーチの各分野における能力を強化していきます。

+ テクノロジーとイノベーション

NACは、今後もテクノロジーの探求と導入を継続していきます。新たな機会を活用し、芸術とテクノロジーセクターでの継続的な革新、学習、コラボレーションを奨励します。また、文化芸術分野が業界全体でテクノロジーインフラを開発する際にもサポートを提供します。

+ データとインサイト

データと実証的証拠は、芸術にとって重要なインサイトを提供し、観客の嗜好を理解するのに役立ちます。これを活用することで、多様な観客層によりうまく対応し、シンガポール内外の観客と芸術作品を共創することができます。

これらの戦略的推進力および取り組みについては、以降のセクションでさらに詳しく説明します(持続可能な芸術産業を実現するために追求すべき望ましい成果等)。

私たちの次のステップ

NACは今後5年間、3Pセクターすべてにおいて、そのステークホルダーやパートナーと協力し、計画の共同達成に全力を尽くしてまいります。私たち一人ひとりが、国内で愛され、世界的に賞賛される、包括的で多様性に富んだ活気ある文化芸術分野を構築する一翼を担うことができると信じています。私たちは共に、インスピレーションを与える創造的な都市としてのシンガポールのビジョンを実現することができるのです。

Tusitala社主催の「ちょっと怖いシンガポールのお話(Sorta Scary Singapore Stories)」で360°の物語を体験する来場者。2023年1月にザ・アーツハウスで開催された「グローイング・ホーム - ザ・アーツプランとあなたについてのショーケース(Growing Home: A showcase about The Arts Plan and You at The Arts House)」にて。

クレジット: Island Boys

P26

共に旅する

マヤ・ダンス・シアター(Maya Dance Theatre)の「ダイバース・アビリティ・ダンス・コレクティブ(Diverse Abilities Dance Collective)」のダンサーたちは、「合流(Confluence)」と題した感動的なパフォーマンスを披露、包括的でつながりのある社会を提唱しました。

クレジット: Colossal Pro

P28

ステークホルダーや市民との協議を重ね「シンガポールアーツプラン(2023～2027)」を策定

私たちは、2021年6月から2023年2月にかけて、4つのフェーズからなるエンゲージメント活動を実施しました。これらのセッションでは、本計画の最初の優先事項を特定し、主要なアイデアを出し合いました。計画を微調整していく中で、セッションからのインプットは戦略をより練ったものにするのに役立ちました。

このようなアプローチは、2022年6月にローレンス・ウォン(Lawrence Wong)副首相が発表した「フォワード・シンガポール(Forward Singapore)」計画に基づいています。この取り組みにおいてシンガポール政府は、シンガポール国民とパートナーシップを結び、自国発展のための次の段階を形作ることを目指しています。

全エンゲージメント・セッションを通じて、合計で16,500人以上が参加し、一般市民から2,700件以上の意見を集めました。

NACは、私たちの芸術計画の形成にご意見やご感想をお寄せくださった、貢献してくださった方々に感謝いたします。次の5年間のジャーニーに向け、3Pセクターのすべてのステークホルダーと協力し、計画を共同開発・共同実施することを楽しみにしています。

約800人の関係者が参加した非公開のフォーカス・グループ・ディスカッションの様子。シンガポールで芸術を発展させるための意見、見解、新しいアイデアを交換しました。

P29

エンゲージメント活動のマイルストーン(2021年以降)

ブルースカイ

フェーズ1

2021年7月～12月

何を: 多様な「ブルースカイ」の構想

誰が: 芸術内外の3Pセクターの思想的リーダー200名

どのように: 1対1のインタビューとフォーカス・グループ・ディスカッション

ディープ・ダイブ

フェーズ2

2022年1月～7月

何を: 各戦略の柱へのディープ・ダイブ

誰が: 芸術内外、公的機関の関係者800名

どのように: 30～50人の参加者による、バーチャルおよび会場でのフォーカス・グループ・ディスカッション

ニューエクスぺリエンス

フェーズ3

2022年7月～8月

何を: フェーズ2のフィードバックを共有

誰が: 300人の芸術関係者が初期段階に関与

どのように: ウォータールー・アート・ベルト沿いの対話形式の音声ガイドウォーキングツアーに参加

パブリックエンゲージメント

フェーズ4

2022年12月～2023年2月

何を: 一般の人々の意見を聞く

誰が: 芸術に関心のある若者や高齢者を含む一般市民

どのように: ウェブページを立ち上げ、計画案を共有するとともに、ロードショーや一般投票を実施し、意見を集めた

2023 ローンチ

ローンチ

2023年9月5日

何を: 活気に満ちた持続可能な芸術のエコシステムづくりに参加するよう呼びかける

誰が: 3Pコミュニティの文化芸術関係者・パートナー

どのように: シンガポールアーツプラン(2023 - 2027)」の立ち上げと、NACの新しいビジョン、ミッション、コア・バリュー、および3Pセクターにわたる新たな取り組みの展開

P30, P31

ブルースカイ: フェーズ1

経済、環境、政治、社会、テクノロジーといったセクターの壁を越え、見識を深めるために、芸術内外のステークホルダーに対して、本計画がそれぞれの分野における優先事項に関連することを呼びかけました。

2021年7月から12月にかけて、私たちは約200人のステークホルダーとフォーカス・グループ・ディスカッションを行い、彼らが考える理想的な文化芸術分野とはどのようなものであるのかを探りました。

+ 芸術活動スペース

+ 観客

+ エコシステムと資金調達

+ 労働力とクリエイティブエコノミー

+ 運営モデル

+ 社会における役割

+ 芸術を支援するインフラ

ディープ・ダイブ: フェーズ2

これらの洞察を分析した後、3つの重要な戦略の柱とそれに対応する9つの優先事項が作成されました。

2022年1月から7月にかけて、約800人のステークホルダーを対象とした中規模グループ・エンゲージメントをバーチャルおよび会場にて約30回実施し、これらの優先事項を明らかにしました。これらのセッションでは、3Pセクターの芸術内外の関係者からなる参加者が意見を交換する機会が設けられ、芸術を私たちの生活の中でより中心的な存在にするための新しいアイデアやパートナーシップの可能性が生まれました。

ニューエクスぺリエンス: フェーズ3

ステークホルダーと触れ合う機会を増やすため、エンゲージメント活動に体験的要素を取り入れました。2022年8月から9月にかけて行われたフェーズ3の活動では、芸術コミュニティの主要なステークホルダーやパートナー約300人が、「アーツプラン(The Arts Plan, TAP)から始めよう(It Begins with TAP)」と題された対話形式の音声ガイドウォーキングツアーを体験しました。

NACとアートクリエイティブ・コミュニティが協力してウォータールー・アート・ベルト沿いでの2時間のショーケースを開催し、シンガポールの文化芸術分野の未来についての展望を模索しました。視覚芸術、文学、舞台芸術などにまたがり、芸術作品やエピソードなどが披露されました。コンテンツは、芸術コミュニティ内やそれ以外の3Pセクター関係者を含む約1,000人の寄稿者からのフィードバックに基づいて作られました。「アーツプランから始めよう」では、シンガポールの芸術分野が今後5年間、いかにしてつながりのある社会を築き、特色ある都市をつくり、クリエイティブエコノミーを牽引していくことができるかを探りました。

2022年後半から2023年前半にかけて、NACはザ・アーツプラン専用ウェブページを通じて、現在の計画案について一般の人々に調査、参加、意見交換を呼びかけました。

また、「グローイング・ホーム – アーツプランとあなたについてのショーケース (Growing Home: A showcase about The Arts Plan)」と題された体験型のイベントが、ザ・アーツハウス (The Arts House) (1月6日～15日)とワン・ブンゴル (One Punggol) (2月10日～12日)で開催され、100人近い芸術家に参加しました。この2回にわたるイベントには、約14,850人の一般市民が参加しました。また、通信情報省傘下の部署である「REACH」との提携により、若者や高齢者を対象としたリスニング・ポイントに約550人の一般市民が参加しました。

①約800人の関係者が参加した非公開のフォーカス・グループ・ディスカッションの様子。シンガポールで芸術を発展させるための意見、見解、新しいアイデアを交換しました。

②メッシュマインズ (Meshminds) 作成の拡張現実 (AR) フィルターを使って交流するゲストたち。RSCLSによるウォータールー・リンクのストリートアートの壁画に命を吹き込み、この特徴的な街のいたるところで芸術を体験しました。

クレジット：Colossal Pro

③「グローイング・ホーム：ザ・アーツプランとあなたについてのショーケース (Growing Home: A Showcase about The Arts Plan and You)」で展示品と触れ合うゲストたち。2023年2月にワン・ブンゴルで開催。

クレジット：Island Boys

P32

皆さまからのフィードバックを大切にします

本計画の作成には、一般市民の参加が不可欠でした。私たちは、計画の背後にある考え方をさらに豊かにするさまざまなアイデアやご意見をいただきました。フィードバックのなかには、以前の公開協議でしばしば浮上したアイデアと同じものもあれば、現在および将来の芸術の展望を形成するためのテクノロジーやイノベーションの重要性についてなど、より現代的な問題を扱った意見もありました。いただいた回答の一部をご紹介しますために、この冊子の随所に原文のまま掲載しています。

2023年1月にザ・アーツハウスで開催された「グローイング・ホーム：ザ・アーツプランとあなたについてのショーケース (Growing Home: A Showcase about The Arts Plan and You)」でSing Lit Cloudを体験する来場者。

クレジット：Island Boys

P33

皆さまの声

公共スペースや中心地にもっと芸術を
若手芸術家のための機会とトレーニングをもっと充実させる
国内の芸術家の海外市場を広げる
学校へのアウトリーチプログラムを増やす
芸術関係者の福祉と給与面に関する研究を
芸術のための新しいビジネスモデルの開発
健康やウェルビーイングを向上させる芸術プログラムを増やす
企業、中小企業、慈善団体とのパートナーシップを構築
芸術によって多様な人々を結びつけてほしい

P34

変革の原動力と推進力

2022年シンガポール国際芸術祭 (2022 Singapore International Festival of Arts) のオープニングアクトである『MEPAAN』は、シンガポール華楽団 (Singapore Chinese Orchestra) とツヤン・イニシアチブ (Tuyang Initiative) によって披露されました。パシル・バンジャン発電所という意外な場所が会場になりました。

クレジット：Arts House Limited

P36, P37

今後の芸術産業の主要な決定要因を特定

対話の中で、私たちは参加者に、今後15年から20年の間に私たちの文化芸術分野に影響を与える地域的・世界的な推進力について尋ね、また、芸術の役割と価値、および今後5年から10年の機会と課題についても議論しました。そのなかで、シンガポールの文化芸術の発展を形作る要因について、いくつかの主要なトレンドが特定されました。

クリエイティブエコノミーの成長

「クリエイティブエコノミー」の定義は統一されていないものの、国連貿易開発委員会 (United Nations Committee on Trade and Development)²は、人間の創造性と経済的価値を持つ技術や製品が交差したものをクリエイティブエコノミーとしています。これには、建築、デザイン、ファッション、映画、音楽、舞台芸術、テレビなどの業種が含まれており、これらの分野は今後も成長することが予想されます。実際、コンサルティング会社のデロイトは、2030年までにクリエイティブ・セクターが最大40%成長すると見えています。³

クリエイティブエコノミーにおけるエキサイティングな発展は、異花授粉のように、異なるクリエイティブ・セクター間で、あるメディアから別のメディアへと垣根なく横断するコンテンツを生み出します。例として、大小の画面の投影に適した地で出版された本、映画のサウンドトラックに使用される音楽、製造デザインに取り入れられた絵画などがあります。芸術とそれに関連するライフスタイルやエンターテインメント業界とのコラボレーションが増え、シンガポールの芸術作品が国内外のより多くの観客に届くようになっていきます。業界を越えたアイデアと才能の流れは、クリエイティブエコノミーの全体に利益をもたらすことになるでしょう。

関連分野だけでなく、芸術は創造性に火をつけ、他の産業でもますます評価されるスキルセットを提供し、テクノロジー、ヘルスケア、環境などの領域で応用できる可能性を秘めています。さらに、テクノロジーがあれば、芸術が経済により大きく貢献することもできます。アート・バーゼルとUBS銀行の報告によると、2022年のビジュアル・アートのオンラインセラーズは総売上上の16%を占めています。これはディーラー、オークション、見本市をより多くの新規顧客にリーチさせるためには、オンラインによるアクセスが重要であることを示しています。⁴

²国際連合貿易開発会議 (United Nations Conference on Trade and Development) (2022年)。クリエイティブエコノミーの展望2022 (Creative Economy Outlook 2022)。

³デロイト (Deloitte) (2021年)。クリエイティブエコノミーの未来 (The Future of the Creative Economy)。

⁴マクアンドリュウ、クレア (McAndrew, Clare) (2023年)。アート・バーゼルおよびUBSアート・マーケット・レポート2023 (Art Basel and UBS Art Market Report 2023)。

10人中7人以上

芸術や文化は、勉強やビジネスにおいて創造的になるための刺激や助けになると回答

およそ10人中7人

芸術や文化がシンガポール経済に貢献すると回答

出典:2022年芸術に関する人口調査(2022 Population Survey on the Arts)

10人中7人以上

芸術や文化はシンガポールへの帰属意識を高めてくれると回答

10人中8人以上

芸術や文化は、異なる背景や文化を持つ人々に対する理解を深めてくれると回答

10人中7人以上

芸術と文化が異なる世代間の対話と理解を促進すると回答

10人中7人

芸術や文化は、シンガポール人のコミュニティの距離を縮めるのに役立つと回答

出典:2022年芸術に関する人口調査(2022 Population Survey on the Arts)

ますます複雑化する社会問題

シンガポールの社会的多様性は拡大し続けており、多文化を中心に進化する国民性を形成しています。多文化・多宗教国家としてのシンガポールの結束力は、開放的な経済および社会によって、ますますその実力を試されることになるでしょう。

私たちの社会が成熟していく中で、芸術は、人種主義、不平等、格差、気候変動、人生の終末期といったデリケートな問題を考える手段になることができます。芸術は、社会が困難な問題や感情を解放するための「圧力弁」のような役割を果たしており、メンタルヘルスやウェルビーイングの向上にも一役買っています。世界経済フォーラムが提唱しているように、芸術と文化は、固定観念を捨て、声なき人々に発信力を与えることで、社会を変える力となることでしょ⁵。

芸術は、人生のさまざまな段階にある人々のひとりひとりに語りかけ、さまざまな年代の人々の希望や不安を表現します。芸術が人の心や精神に関わっていくことで、社会問題についての深い対話を促し、これらの問題の複雑さやニュアンスについての理解を深めることができます。

⁵世界経済フォーラム(World Economic Forum)(2020年)。芸術と文化はいかにして社会変革の力となりうるか(How arts and culture can serve as a force for social change)。

P38, P39

10人中7人以上

芸術と文化はシンガポール人が誇れるものであると回答

10人中7人以上

芸術と文化が生活の質を向上させると回答

出典:2022年芸術に関する人口調査(2022 Population Survey on the Arts)

高まる居住性の重視

ユネスコと世界銀行によると、芸術と文化は住みやすい持続可能な都市にとって不可欠な構成要素であり、活気ある創造的な環境は、雇用の増加と多様化、都市への移住と企業の誘致、ハイテク産業の雇用と成長の増加、包括性の促進をもたらすとされています。⁶

文化芸術分野がシンガポールの生活の質を向上させ、都市環境にダイナミズムと活気を生み、刺激的で多様なレクリエーションの選択肢を与えることでこの都市の住みやすさに貢献できるよう、さらに発展させていきたいと考えています。

活気ある文化芸術のエコロジーは、シンガポールの国際競争力に貢献し、他の主要都市に対する国際的地位を高めます。文化芸術分野が盛んで特色ある都市であるということが、シンガポールをより魅力的な故郷に、より魅力的な目的地にしてくれます。

都市の住みやすさは、その都市の持続可能性とレジリエンス、つまり将来の世代のためにどのように設計されているか、また数々の課題からどれだけ早く回復できるかによっても測定できます。これらの課題は、異常気象やその他の災害リスクが高まる気候変動の時代において、より関連性の高い問題となっています。

芸術は、こうした課題を探索するための重要なプラットフォームです。例えば、自然環境との相互関係や、よりクリーンなエネルギー源への転換の必要性など、環境に配慮した問題を追求する芸術家の数も増えています。文化芸術分野においても持続可能な発展が求められ、廃棄物を最小限に抑え、資源を効率的に利用する必要性に対する認識が高まっています。

Participate in Designがプロデュースし、ペーパーアーティスト兼イラストレーターのシェリル・テオ(Cheryl Teo)が指揮を執った。本イベントでは、テロック・ブランガー地区の住民たちが集まり、そこでの生活について語りあいました。これをヒントに、3ヶ月にわたってペーパークラフトを使って、自分たちの家のミニチュア・ユニット、好きな食べ物、コミュニティスペースを製作しました。これらの作品はアート・インスタレーションにまとめられ、テロック・ブランガー・マーケットとフード・センターに展示されました。

クレジット:Participate in Design

⁶ユネスコ&世界銀行(UNESCO & World Bank)(2021年)。都市、文化、創造性: 持続可能な都市開発と包括的成長のための文化と創造性の活用(Cities, culture, creativity: Leveraging culture and creativity for sustainable urban development and inclusive growth)

P40, P41

デジタル・アートの消費と創造を加速

テクノロジーは観客の芸術体験のあり方を一変させました。COVID-19の流行による世界的な規制やロックダウンの際には、特にそれが顕著に現れました。そしてCOVID-19の流行後は、バーチャルと物理的な世界の両方で芸術を楽しむことが新しい常識となりました。例えば会場でのコンサートやライブ・ストリーミングでのパフォーマンス、実店舗でのギャラリー・ショーやバーチャル展覧会など、自宅にいながら芸術を鑑賞したり、モバイル機器を通じて外出先で鑑賞したりと、私たちはかつてないほど幅広い選択肢を持つようになりました。

テクノロジーの進歩により、人気のあるオンライン・プラットフォーム（YouTube、TikTok、ポッドキャスト）を通じて、芸術をより楽しむことができるようになりました。また、テクノロジーは、対面で行う芸術体験も向上させています。例えば、センサー、拡張現実（AR）、QRコードなどで観客とのエンゲージメントを深め、新しく創造的な方法で芸術と対話することができます。

視聴者への浸透が進んだ結果、デジタルコンテンツによる収入はここ数年で着実に増加しています。国際レコード産業連盟（International Federation of the Phonographic Industry）の2023年報告書によると、音楽など一部の業界では、ストリーミング・サービスは今や世界的に優勢なフォーマットとなっており、2022年にはその売上は世界のレコード音楽収入の67%を占めています。⁷このように、テクノロジーは芸術の新たな扉を開く、重要な原動力で、注目すべき分野です。

一方、「第4次産業革命」あるいは「4IR」とも呼ばれる「インダストリー4.0」は、クリエイティブエコノミーに新たな機会をもたらしています。4.0テクノロジーの例としては、3次元（3D）プリンティング、人工知能、ARやバーチャルリアリティ（VR）、ブロックチェーン、クラウドコンピューティング、ドローン、モノのインターネット（IoT）などが挙げられます。これらのテクノロジーは、クリエイティブな商品やサービスを生産、流通、消費するための新たな道を切り開き、より多くのグローバルな消費者にリーチする可能性を秘めています。⁸

テクノロジーは芸術家が作品を創作・発表するためのツールやメディアの選択肢を広げ、芸術が新たな観客にリーチするためのプラットフォームをひらくことで、芸術的創造に計り知れない機会をもたらします。また、デジタル技術の進歩は、一例として観客を理解しそこにリーチする上で、芸術コミュニティがデータを賢く活用する機会も新たに生み出します。

そして芸術とテクノロジーとの融合は、企業パートナーとの新たな関わり方も生み出しています。より多くの芸術家がテクノロジー企業と協力して、実験的な試みや新しい表現を開発し、芸術制作と発表の常識を変える革新的な取り組みを行っています。

⁷国際レコード産業連盟（International Federation of the Phonographic Industry）（2023年）。

⁸マッキンゼー・アンド・カンパニー（McKinsey & Company）（2022年）。インダストリー4.0、第4次産業革命、4IRとは何か？（What are Industry 4.0, the Fourth Industrial Revolution, and 4IR?）

2020年から2021年にかけて、シンガポールのデジタル・アートの観客において

10人中7人

芸術関連のウェブサイトやアプリを訪問したことがあると回答

10人中8人

デジタルを通じて芸術に関わっている

10人中8人

COVID-19の流行後もオンラインでの芸術鑑賞を継続すると回答

出典：パンデミック後のノーマルにおける芸術-注目すべき5つのマクロトレンド（2021年）およびCOVID-19芸術消費調査（2020年～2021年）（Arts in a Post-pandemic Normal - 5 Macro Trends to Watch）

①AGAMシアターラボ（AGAM Theatre Lab）によるオリジナル作品「Duryodhanan」は、テクノロジーを演劇と融合させ、現地語（タミル語）の古典を拡張現実とバーチャルリアリティのパフォーマンスとして上演する、同カンパニー初の試みです。

クレジット：AGAM Theatre Lab

②シネリーヘン（Sineelyeheng）の人形劇団員たちが、初のデジタル公演のひとつであるヤン・リンポー（Yang Lingpo）の「追悼論（The Argument on Memorial）」の収録を行っている様子。COVID-19の流行後、劇団員たちはより多くの観客にリーチするために新しい方法を模索してきました。

クレジット：Sineelyeheng Teochew Troupe and Traditional Arts Centre (Singapore)

P42

今後5年間にむけて

エスプラネード・シアターズ・オン・ザ・ベイ（Esplanade - Theatres on the Bay）とシンガポール華楽団（Singapore Chinese Orchestra）は、2022年10月に「夜明け（Daybreak）」と題した新作を発表しました。

クレジット：Aloysius Lim (Photo Courtesy of Esplanade - Theatres on the Bay)

P44

私たちは、芸術家たちが新たなレベルの芸術的卓越性をもたらし、経済と社会の発展に大きく貢献する未来を構想しています。

P45

「つながりのある社会」の上に成り立つ特色ある都市とクリエイティブエコノミーとしてのシンガポールのビジョン

持続可能な芸術エコシステムを構築する上で、中心となるのは「芸術的卓越性」と「熱心な観客たち」

つながりのある社会

芸術と文化を共有するための拠点

+アーツ・フォー・ライフ：すべての人があらゆるライフステージにおいて質の高い芸術を体験し、芸術によって人生を豊かにすることができる

+アーツ・フォー・コミュニティ：芸術体験の共有を通じてコミュニティの絆が強化される

+アーツ・トゥギャザー：3Pセクターが芸術の価値を認識し、共に芸術に貢献する

特色ある都市

芸術に触発される都市、芸術のための都市

+文化的な都市：芸術を通じて、独自のアイデンティティと共有するアイデンティティの両方を受け入れ、かつ紹介し、帰属意識を育む場所

+象徴的な都市：創造性と革新性によって、空間、建造物、街並みが変わり、再構築され、新たに生まれ変わる場所

+インスピレーションを与える都市：誰にとっても魅力的な故郷であり、芸術と文化を通して公共空間と私的空間が活気づくような場所

クリエイティブエコノミー

芸術的才能、卓越性、革新性がその活力

+繁栄する文化芸術分野：クリエイティブエコノミーにおいて、関連産業とシームレスに統合され、雇用機会を創出する

+優れた人材：芸術活動家が評価され、より広範なクリエイティブエコノミーへの積極的な貢献が認識される

+世界的にも名高い文化芸術分野：世界の芸術業界から賞賛され、国際的な観客から渴望される品質と革新力を備え、芸術が3Pセクターとのコミュニティを構築できる場所

パートナーシップ、テクノロジーとイノベーション、データとインサイトによって実現可能に

P46

「シンガポールアーツプラン(2023～2027)」は、シンガポールを特色ある都市として、また、つながりのある社会を基盤とするクリエイティブエコノミーを持つ都市として構築することを目指しています。私たちは、芸術家が新たなレベルの芸術的卓越性をもたらし、経済と社会の発展に大きく貢献する未来を構想しており、国内外の観客がシンガポールの芸術と文化に深く関わることを目指しています。

「シンガポールアーツプラン(2023～2027)」では、3つの戦略の柱に焦点を当てています。

+ つながりのある社会

シンガポールのアイデンティティが、私たちの共有する芸術と文化に支えられている社会

+ 特色ある都市

芸術によって空間が活気づき、シンガポールを愛すべき故郷・魅力的な目的地とすることによって貢献している

+ クリエイティブエコノミー

文化芸術分野が、芸術的才能、卓越性、革新性、そしてより大きなクリエイティブ産業との緊密な協力関係によって活性化されている

P47

芸術的卓越性

過去5年間、シンガポールのアーティストたちは力強く成長してきました。彼らはレジリエンスと革新性を発揮して、2020年から2021年にかけてのCOVID-19の流行の難局を乗り切りました。この時代の危機から抜け出しつつある状況の中で、ダイナミックに成熟しつつある私たちの文化芸術分野、芸術家、文化芸術団体は、新しい作品を発表し、国内外で芸術の旅を再開しています。

今期間の計画では、芸術の多様なキャリアパスへの機会を広げながら、卓越した芸術を引き続き支援していきます。より多くのシンガポール人の芸術家が芸術活動を極め、新たな観客を刺激し、国際的にも国内的にも評価されるようになるでしょう。私たちは、新しいパートナーや既存のパートナーと協力し、芸術家たちが持続可能なキャリアを構築する機会を増やしていきます。また、新進アーティストには、スキルの向上やプロフェッショナルなネットワークの構築のための支援を行います。

*SPACEは2022年、ダンス・レジデンシー・プログラムの一環として、巡回公演「瞬間的な身体(Momentary Bodies)」を発表しました。

クレジット:Kuang Jingkai

P48, P49

観客との関わり

持続可能な芸術エコシステムの成功は、芸術家やその作品の質はもちろん、国内外の観客とのつながりや成長に寄与するかどうかによっても決まります。

この5年間で、観客はこれまでとは全く違った新しい芸術体験を楽しむようになりました。COVID-19の流行がもたらした新たな課題により、多くの観客がデジタル・プラットフォームから国内外の芸術プログラムにアクセスするようになりました。人々は、複合領域の芸術形態における新たな可能性を受け入れ、新たな方法で芸術に関与しています。

今後5年間で、私たちは国内外の観客に物理・デジタル両方のプラットフォームを通じて呼びかけ、観客を増やしていきたいと考えます。私たちの使命は、芸術を人々の人生の大切な一部にすることです。集団的な芸術体験や思い出を通じて、人々は互いにつながりや帰属意識を感じることができるでしょう。

社会的背景や経済的背景にかかわらず、誰もが質の高い芸術に触れることができるよう、私たちは企業やコミュニティのパートナー、そして公共セクターと協力し、芸術へのアクセスを広げ、深めていきます。

① 毎年恒例の「グッドマン・オープン・ハウス2023(Goodman Open House 2023)」でのアプサラス・アーツ(Apsaras Arts)によるリハーサル風景。音楽、ダンス、ビジュアル・アートなど、さまざまな芸術形式のプログラムが来場者を楽しませました。

クレジット:Arts House Limited

②「S.E.A. Focus」の来場者たち。「シンガポール・アート・ウィーク2023」の一環として、STPI - クリエイティブ・ワークショップ・アンド・ギャラリー(STPI - Creative Workshop and Gallery)が開催した東南アジアの現代アートに特化したショーケースとキュレーション・プラットフォームです。

③SNYCQ20:Reunionに出席したエリック・チュア(Eric Chua)文化コミュニティ青年省および社会家族開発省上級政務官(前列中央)。「カルチュラル・エクストラバガンザ2023(Cultural Extravaganza 2023)」の一環として、シンガポール・ナショナル・ユース・チャイニーズ・オーケストラ(Singapore National Youth Chinese Orchestra)とシンガポール・チャイニーズ・カルチャー・センター(Singapore Chinese Cultural Centre)が共催。

クレジット:Singapore Chinese Orchestra

P51

持続可能なエコシステム

優れた芸術のエコシステムは、強く多様な人々、組織、機関のネットワークで構成されています。健全なエコシステムは、芸術家、文化芸術団体、芸術評議会、パトロン、観客、そして文化芸術分野以外の人々の貢献を結集して、シンガポールへの誇りと帰属意識を育んでいます。

私たちNACだけでは、文化芸術分野の成長に必要な専門知識や能力をすべて提供することはできません。それゆえ、私たちは多様なパートナーやセクターと協力し、芸術と文化を次の卓越したレベルに引き上げ、日常生活にさらに根付かせ、芸術の価値と影響が社会全体で拡大し続けるよう取り組んで参ります。

2022年、シンガポール作家祭(Singapore Writers Festival)が久しぶりに会場形式で復活し、読者、作家、読書マニアたちにぎわいました。

クレジット:Arts House Limited

P52

私たちの戦略の柱

「怪物のような面白さ! 2023(Monstrous Fun! 2023)」を楽しむ子供たち(ザ・アーツハウスにて)。子供連れの家族向けに数々の文学的プログラムが提供されました。

クレジット:Arts House Limited

P54

芸術は私たちみんなのものです。私たちの目標は、シンガポールにいるすべての人が、クリエイター、参加者、観客として、芸術にアクセスできるようにすることです。

P55

つながりのある社会

芸術が3Pコミュニティを結びつける場所

芸術は私たちみんなのものです。自分の個人的経験が芸術に表現、反映されるのを見ることは、個人にとって活力になります。私たちの目標は、すべてのシンガポール人が、その生い立ちや境遇に関係なく、クリエイター、参加者、観客として、芸術にアクセスできるようにすることです。

シンガポールの多文化・多宗教社会は私たちの国の強みです。芸術の力により、人々がお互いの異なる視点を理解することによって、多様なコミュニティを結びつけています。違いや共通点を大切にすることを通じて、芸術はシンガポール人に文化遺産を共有しているという実感を与え、帰属意識を促進してくれます。

主要な行動の優先事項は以下の通り：

+ 生涯を通じた芸術体験

あらゆる年齢層において、教育、レジャー、ウェルビーイングといった人生の主要分野に芸術体験を組み込む。

+ 共有体験を通じたコミュニティの強化

戦略的パートナーシップとプログラムを通じて観客と芸術の接点を拡大し、多様なコミュニティ内外の強い絆を育む。

+ サポート拡大のためのアドボカシーの推進

3Pセクター全体で芸術の社会的影響に対する理解を促進し、多様化し拡大するパトロンからの芸術への貢献を奨励する。

P56

変化のきっかけ

平等なアクセスを確保

シンガポールでは、誰もが平等に芸術にアクセスができるというわけではありません。そのことで芸術や文化に対する誤解も生じています。芸術活動への参入障壁を低くすることで、シンガポールの人々は芸術が持つ変革の力によりアクセスできるようになり、またシンガポールの活気ある文化に参加、貢献できるようになります。

芸術の社会的価値

芸術は、国民的アイデンティティを強め、帰属意識を育み、社会的結束を促進し、地域社会の絆を発展させることを通じて、国づくりに貢献しています。芸術は異なる文化やサブ・アイデンティティがシンガポール国内で調和しながら共存することが可能であり、今後もそうあり続けるということを、目まぐるしく進化するこの社会全体に強く思い起こさせてくれます。なぜなら、この多様性こそが私たちの強みだからです。

シンガポール・チャイニーズ・カルチャー・センター (Singapore Chinese Cultural Centre) 主催、アーティストのウォン・スイ・イェン (Wong Swee Yean) 指導のもと、シニア参加型ワークショップ「物語を語り、思い出を分かち合おう (Telling Your Stories, Sharing Your Memories in 2022)」が#SilverArtsの一環として開催されました。アングリカン・シニアセンター (Anglican Senior Centre) (ハーブロック、タンピネス&イーション) にて。

クレジット：Singapore Chinese Cultural Centre

P58, P59

どのように目標に到達すべきか

重要な優先事項

生涯を通じた芸術体験

私たちは、若い頃から生涯にわたって芸術を体験できるような機会をもたらしたいと考えています。そのひとつの方法は、教育省 (Ministry of Education, MOE) などの主要な教育機関とパートナーシップを構築することで、生徒の芸術学習経験を高め、シンガポールの多様な文化芸術に触れる機会を増やすことです。例えば、NACとMOEは文化芸術団体と協力し、プロが使用する芸術施設において、文化芸術団体や芸術家による新たな音楽教育に取り組んでいます。また、社会的・情緒的な豊かさを育み、「21世紀型コンピテンシー (21st Century Competencies)」の取り組みを発展させるために、芸術を通じた学習により重点を置く予定です。

社会にはさまざまな層がありますが、それぞれが好む芸術へのアクセス方法が異なっていることを認識しています。例えば、若者がオンラインで芸術鑑賞を楽しむ一方、高齢者は物理的な会場を訪れ、身近な場所で芸術を体験する方が簡単だと感じる場合があります。これからも文化機関と連携し、さまざまな観客層に応じたアウトリーチ活動を行ってまいります。

あらゆるライフステージで誰もが芸術にアクセスできるようにするため、私たちは芸術が変化をもたらすことができる分野について、データに基づいたインサイトを得るための調査を実施したいと考えています。例えば、コミュニティのパートナーと協力して、より健康的な生活習慣を促進するために芸術を活用するなど、シンガポールの人々の健康増進に向けた動きの不可欠な一部を担うこともできます。プログラムの内容については、行動科学や医療保健といった分野の専門知識を活用したいと考えています。

「学校でのアウトリーチプログラムを増やしたり、生徒たちが校外でアートを楽しむ機会を増やしたりすることもできるでしょう。これは、芸術や文化に関わっていない学生にとっても有益です」

ー カルビン・ゴ (Calvin Goh)、29歳

教育者、合唱歌手

前期中等教育課程の生徒たちがプロの生演奏を聞き、音楽学習に取り組んでいる様子。

クレジット：Singapore Chinese Orchestra

P60, P61

共有体験を通じたコミュニティの強化

すべての芸術体験は、人々がつながりを持つための機会となります。生活のあらゆる場面へ芸術を浸透させ、人々が経験や視点を共有し、有意義な交流を深められるような機会を増やしたいと考えています。例えば、公園、商店街、生活空間などの公共の場所での芸術活動を、行政や民間セクターとのパートナーシップを通じ、増やしていきたいと考えています。また、住宅街の共有スペースにある既存あるいは新しいデジタル・スペースにおいて、より多くの地域の芸術を紹介することを計画しています。

地域社会に貢献する参加型芸術形態に関連するスキルと能力を開発することを目標に、芸術家への支援をさらに深めたいと思います。社会的マインドを持った芸術家は、各組織と協力して、人々がアクセスしやすい新しい芸術のプラットフォームを作ることができるでしょう。具体例のひとつに、ART:DISシンガポール(ART:DIS Singapore)と協力して、芸術へのアクセスにおけるベストプラクティスを学び、考察する場として「芸術と障害フォーラム (Arts & Disability Forum, ADF)」を立ち上げたことが挙げられます。このプラットフォームは、国内外の芸術関係者や専門家、シンガポールの障害者支援機関のコラボレーションも促進しています。交流と情報交換を促進することで、ADFは芸術と障害に関する多様な経験についてのインサイトを示しています。

「社会全体に芸術への参加を奨励することは、『芸術とは一部の層だけのものだ』という考えを払拭するのに役立つでしょう。私は、多様性のある芸術形態、特にさまざまな民族の芸術が多くの人の目に触れられることを望んでいます。そうすることで、私たちの身近にある芸術への理解が深まり、この街がさらに活気づくことでしょう。」
- レシュマ・ジェータナンド(Reshma Jethanand)、45歳
親

ティモシー・リー(Timothy Lee)、イヴニ・ヤアクブ(Ivni Yaakub)、チョウ・ジュン・ウェイ(Choo Jun Wei)による『王子様と出会った日(Day I Met The Prince)』の公演。アートワーク:アメリア・タン(Amelia Tan)。
「芸術と障害フォーラム2023(Arts & Disability Forum 2023)」にて。
クレジット:ART:DIS Singapore

P63

サポート拡大のためのアドボカシーの推進

芸術を支える仕事は、私たち全員が関与するものです。より多くの市民のパートナーに文化芸術を支持していただくことで、私たちのセクターがもたらす恩恵は、社会のより多くの人々に届くようになります。今後数年間は、企業、公的機関、ボランティア団体など、より多くのパートナーを開拓し、提携していく予定です。こうした支援者たちのご協力をいただきながら、私たちは有機的な支援の高まりを生み出すための地道な取り組みを進めていきたいと思っています。私たちは共に、芸術の持つ価値と芸術が社会的課題を解決する能力について、さらに提唱していきたいと考えています。

「もっと多くの芸術家が、コンサルタントとして、あるいは芸術をベースとしたプロジェクトのアイデアを引き出すために、芸術以外のコミュニティや社会サービス組織、慈善団体と関わることを願っています」
- バーニス・リー(Bernice Lee)、36歳
アーティスト、舞踊家

スーパーヒーロー・ミー(Superhero Me)は、NACが主導し、民間からの寄付によって支えられている「サステイン・ザ・アーツ(Sustain the Arts, stART)ファンド」によって運営されている芸術団体のひとつです。
クレジット:Superhero Me

P64

私たちは、人々が生活し、働き、遊ぶ空間や場所に芸術を統合することを目指しています。

P65

特色ある都市

文化的で、象徴的で、感動的な場所

芸術インフラとは、芸術が体験され創造される空間、つまりコンサートホールやギャラリー、劇場などの芸術施設や、スタジオやワークショップといった芸術活動スペースなどのことです。こういったスペースは、コミュニティとのエンゲージメントの中心地でもあり、内在するテナントは、カンボン・グラム地区やシビック地区のように、近隣の場所づくりにも貢献しています。

芸術からの刺激を受ける活気ある空間は、シンガポールを特色ある都市へと変貌させることでしょう。私たちの芸術インフラは、人生を変えるような芸術との出会いをもたらすためのダイナミックかつエキサイティングな場であり続け、また、さまざまな発展段階にある文化芸術団体や芸術家を集結させ、育成する場でもあります。

主要な行動の優先事項は以下の通り。

+ 空間の多様化と開放

手ごろな価格の公共スペースやプライベート・スペースへのアクセスを増やし、シンガポール中の人々が生活し、働き、遊ぶ、より多くのスペースに芸術を統合する。

+ 芸術の場および地域の活性化

公共および民間セクターと協力し、革新的でユニークな芸術の場や地域を、芸術家や地元および世界の観客のために共同創造する。

+ あらゆる場所にアートを浸透

実世界、拡張現実、メタバースにおいて、芸術で溢れた没入感のある創造的な都市を創造する。

ジェローム・ウン(Jerome Ng)とゼッド・ハーン(Zed Haan)による「絆(BOND)」は、ブンゴルからジュロンまでのC2Cトレイルに設置された14のパブリック・アートのひとつです。このインスタレーションは、パブリック・アート・トラスト(Public Art Trust)が2021年に委託したパブリック・アート・ショーケース「リライト:目の前の世界(Rewritten: The World Ahead of Us)」の一部です。
クレジット:Finbarr Fallon

P66

変化のきっかけ

需要と供給に対応する持続可能なソリューション

より多くの芸術関係者やその活動のシンガポールの活気あるシーンへの貢献により、シンガポールの芸術事情は、目覚ましい発展を遂げています。NACの「アートのためのフレームワーク(Framework for Arts Spaces)」は、インキュベーション・スキーム、文化芸術団体や芸術家の育成スキーム、アートセンター・スキームという3つのスキームで構成されており、それぞれ独自の育成ニーズを持つ文化芸術団体や芸術家を幅広く支援しています。

これからも芸術の創造と発表のために多様なスペースを開放して、芸術家と観客をサポートしたいと思います。私たちは、人々が生活し、働き、遊ぶ空間や場所に芸術を統合することを目指して

多様なニーズをサポートする最適化

1985年以来、芸術や文化的目的に使用されるスペースは5倍以上に拡大し、その広さは約18,000平方メートルから88,000平方メートルにも成長しています。マルチテナントのアートセンター、多目的スタジオ、プロジェクトスタジオ、ブラックボックスといった共有施設を持つスペースなどが挙げられます。具体的には、グッドマン・アーツ・センター (Goodman Arts Centre)、アリワル・アーツ・センター (Aliwal Arts Centre)、スタンフォード・アーツ・センター (Stamford Arts Centre)、最近改装された42ウォータールー・ストリート (42 Waterloo Street) などです。シンガポールの文化芸術分野が進化する中で、芸術活動スペースをより広いコミュニティに利益をもたらすものにすることは極めて重要です。このような配慮は、公共部門や民間部門と協力する努力の土台となり、NACが所有するスペース以外でも、多くの芸術家が芸術制作や能力開発、参加型体験を行う際に多くのスペースを利用できるようになります。

アデリーヌ・クエ (Adeline Kueh) とヘイゼル・リム＝シェレゲル (Hazel Lim-Schelegel) による「noon (at play)」は、シンガポールの3つの公園 (アルメニアン・ストリート45 (45 Armenian Street)、カンボン・ジャワ (Kampong Java)、タンジョンパガー・ディストリパーク (Tanjong Pagar Distripark)) に設置されたパブリック・アートのひとつ。これらは、パブリック・アート・トラストが発表した5つのパブリック・アート・インスタレーション・シリーズ『As You Were』の一環である委託作品。

P68, P69

どのように目標に到達すべきか

重要な優先事項

空間の多様化と開拓

芸術活動スペースは芸術のエコシステムにおいて極めて重要です。芸術の制作や発表、芸術家の育成、観客の啓発に必要不可欠だからです。私たちは他の政府機関と緊密に協力し、新たな観客が芸術を鑑賞し、出会うことができる新たな場を創造したいと思います。例えば、シンガポール土地公社管轄のギルマン・バラックス (Gillman Barracks)、NParks管轄の公共公園、陸上交通局管轄のMRT駅などが挙げられます。

芸術家の活動は多様で分野横断的であり、様々なニーズが生じます。特に、インキュベーション、実験、プレゼンテーションのためのスペースをもっと増やすことが必要です。アルメニアン・ストリート45、カンボン・ジャワ、タンジョンパガー・ディストリパークなどのスペースは、文化芸術団体や芸術家のために多様なスペースを増やそうと努力しています。

今後、より多くの利用者や用途に対応できるよう、既存のスペースを最適化したり、返還したりする計画もあります。助成金が多いスペースを割り当てることによって、既存の芸術活動を引き続き支援する一方で、新進の文化芸術団体や芸術家にも機会を与えることができます。公平なアクセスを確保するため、私たちは今後も参加資格と審査基準を前もって示し、芸術活動スペースの一般公募を行います。また、既存のアート・テナントが他のプライベート・スペースやパブリックスペースを直接賃貸し、契約する際のサポート業務も致します。

「芸術を発表するための新たな場が開拓され、再利用され、文化芸術分野の人々が支援されるのはとても嬉しい事です」

- ジョン・ヤップ (John Yap)、28歳
芸術愛好家

①「リアリティ・イン・コンストラクション (Reality in Construction)」は、「アリウォール・フェスティバル2022 (AliWALL Festival 2022)」の一環として発表された参加型屋外壁画。RSCLSのアーバン・コレクティブからSpazとTraseOne、アーティストのハス・ジェイ (Has.J)、クリスタル・メルソン (Kristal Melson)、スラクサトゥ (Slaccatu) が参加。
クレジット: Arts House Limited

②ヘーグ・ヤン (Haegue Yang) の「ハイブリッド媒介物 - 爛漫のエレクトロフォラス・デュオ (ソニック媒介物 - 毛深い炭素からなる住人とランディング媒介物 - 毛のない無色の住人) (The Hybrid Intermediates - Flourishing Electrophorus Duo (The Sonic Intermediate - Hairy Carbonous Dweller and The Rending Intermediate - Furless Uncolored Dweller))」のデモンストレーション。第7回シンガポール・ビエンナーレの一環としてタンジョンパガー・ディストリパークにて開催。
クレジット: Singapore Art Museum

P71

芸術の場および地域の活性化

プレイスメイキング (placemaking) が成功した地区は、特徴的で活気のある場所になります。このような取り組みとして、シンガポールの空間を盛り上げ、活気づけるバスキング (busking acts) のイベントなどが挙げられます。プレイスメイキングには、複数の関係者との共同作業が必要で、都市計画、文化政策、コミュニティ・エンゲージメントと統合しなければなりません。プレイスメイキングを成功させるため、NACはショッピングモールや事業主など、既存および新規ステークホルダーとの関係を開拓し、より多くのパートナーの参加を促してきました。

私たちは、芸術活動スペース、パブリック・アート作品、展示会を戦略的に活用することによって、近隣地域を活性化し、その地域独自のアイデンティティ確立に貢献したいと考えています。こういった取り組みを通じて、芸術家に作品を発表する機会を提供し、さまざまな環境と関わる有意義でインパクトのある方法を探索してもらいたいと思います。

私たちは都市再開発局 (Urban Redevelopment Authority, URA) や住宅開発局 (Housing Development Board, HDB) と協力し、「ライブリー・プレイス・プログラム (Lively Places Programme)」を通じて、公共スペースの活性化を図ります。このプログラムでは、共有スペースを活性化する芸術プロジェクトや、人々の絆を深めるような活動を企画しているコミュニティを支援します。

また、芸術家がツールや手段、ベストプラクティスを入手して、持続可能なコミュニティ・プロジェクトを継続するために支援したいと思います。例えば、社会的インパクトを与えるプログラムをデザインする方法についての講演会を開催し、初めてコミュニティで活動する芸術家を育成することもできます。経験豊富な芸術家のメンターが、これらの助成金申請者とペアを組み、助言や指導を行うこともできます。

より質の高い芸術作品を公共スペースなどに展示することで、日常生活に芸術を根付かせることができます。まず、2018年に策定された「アートのためのパブリックスペース (Public Spaces for Art)」スキームを刷新し、公共機関や民間機関でアートを紹介してくれるパートナーを増やします。次に予定されているのは、包括的な「パブリック・アート・マスタープラン (Public Art Masterplan)」で、今後数年間のパブリック・アートの展望と戦略を明確にします。最後に、複数の公的機関によるパブリック・アート委嘱のプロセスを合理化・標準化し、委嘱の枠組みが政府全体で一貫したものとなるように努力します。

「地元の芸術家の作品をいつでもどこでも目にすることができたら嬉しいですね。

地元の芸術によって会話に花が咲くだけでなく、街全体が盛り上がることでしょ

- ヌル・ナジラ・ビンテ・モハメッド・ニザム (Nur Nadzirah Binte Mohamed Nizam)、23歳

ランドスケープアーキテクチャー学科学学生

「ライブリー・プレイス基金 (Lively Places Fund)」を活用し、ユー・リアン・パーク (Yew Lian Park) 地区の住民と芸術家のムハンマド・イズディ (Muhammad Izdi) が共有スペースに芸術を施しました。地域社会からの物語にインスパイアされた芸術作品を通じて、一般市民はユー・リアンパークの歴史と遺産を讃えます。

クレジット: Urban Redevelopment Authority

P72

あらゆる場所に芸術を浸透

私たちは、バーチャルな領域での可能性をさらに活用して、芸術のための特色ある都市としてのシンガポールの知名度を高めていきたいと考えています。これにより、革新的な芸術体験を生み出し、新たな観客とつながり、新たな収入源を生み出す機会が生まれると信じています。

インターネットの次の進化系と考えられているメタバースは、物理的な体験とデジタルな体験の両方を統合します。物理的な芸術体験を没入感のあるバーチャルな世界に変換することで、新しい観客参加のスタイルを生み出すことができます。NACは、文化機関、文化芸術団体、テクノロジー・パートナー、政府機関からなるワーキンググループを結成し、メタバースにおけるエキサイティングで実行可能なプロジェクトのプロトタイプを開発しています。

アイデアの一例としては、シビック地区と同地域の主要な文化施設のデジタルツインや、アートギャラリーや芸術活動スペースといったインフラのデジタル化を進めることなどが挙げられます。メタバースは、コンサート、フェスティバル、ピエンナーレなど、バーチャルな領域でのオルタナティブなイベント体験を観客に提供することができます。また、レジデンスやラボスペースなど、実験的取り組みや国際的なコラボレーションを生み出す専用スペースを芸術家に提供することもできるでしょう。

プレイスメイキングは共同作業です。今後は、都市計画家や建築家など、他のステークホルダーとともに調査を行い、シンガポールを芸術と文化で溢れる場に変えるための最善の方法を模索します。プレイスメイキングの可能性について、次のような問題について調査を進める予定です: 世界に名だたる建築物を擁する特色ある都市づくりにおいて、芸術が貢献し、人々の帰属意識も定着させるにはどうすればいいのか? 芸術はどのように緑地や建物のデザインを向上させるか? 私たちの芸術活動スペースは、どうすればもっと環境に配慮した持続可能なものになるのだろうか?

「NFTやメタバースといった新しいメディア技術を活用する方法についての提案も、アート・マスタープランに含めることができます」

- グナセガラ・シニア (Gunasegaran Sinniah)、59歳

ニューメディア (AR/VR) トレーナー

「私たちは、シンガポールを東南アジア、ひいてはアジア太平洋地域の文化芸術のハブに変えるために、さらなる可能性を模索します」

- フレディ・チャンドラ (Fredy Chandra)、36歳

アートギャラリー・マネージャー

アリスア・シス (Atelier Sisu) によるインスタレーション「Ephemeral」が、SAWの一環としてナショナルギャラリーシンガポールが企画した「ライト・トゥ・ナイト2023: 今ここに (Light to Night 2023: Here and Now)」。

没入型の光と音の彫刻であるこの作品は、泡の幽玄さを強調し、私たちの生来の遊び心に訴えかけると同時に、儚い空間としての世界への思索を呼び起こす。

P74

私たちは、芸術が経済的にも繁栄し、芸術家たちに実現可能なキャリアを提供することを望んでいます。

P75

クリエイティブエコノミー

競争力を高める

有意義な体験という形で公共の価値を生み出すだけでなく、芸術家の創造的な才能は、具体的かつ測定可能な成果をもたらすものです。つまり収益を生み出し、雇用を創出します。私たちは、芸術が経済的にも繁栄し、芸術家たちに実現可能なキャリアを提供することを望んでいます。そのために、芸術家のプロ化を支援し、スキルの向上と幅の拡大を図っていきます。最終的には、シンガポール人の芸術家が世界の舞台で輝けるようサポートを行います。

主要な行動の優先事項は以下の通り。

+ 新たなビジネスモデルを築く

芸術と関係業界の認知度と可能性を高め、雇用機会を増やす。

+ 芸術的卓越性の育成

芸術における持続可能なキャリアに必要な能力と開発経路を構築する。

+ 国際化の機会の拡大

グローバルにつながる文化芸術分野を発展させ、シンガポールがクリエイティブな中心地であるという評価を確立し、地元の芸術に対する国際的な需要と市場を拡大する。

ベルニナ (BERNINA) 社とのコラボレーションにより、独立系玩具作家であるダニエル・ユー (Daniel Yu) による限定フィギュア「シャイニング・ウィザード (Shining Wizard)」が、「シンガポール・アート・ウィーク2022 (Singapore Art Week 2022)」のコレクター・ベースにて初披露されました。

P76

変化のきっかけ

芸術キャリアの持続可能性

COVID-19が流行した2019年、シンガポールの文化芸術イベントへの入場者数は1,560万人と過去最高を記録し、2018年の1,360万人を上回っていました。⁹

COVID-19の流行は観客動員や芸術への参加率に影響を及ぼしましたが、芸術コミュニティは、デジタル・プレゼンテーション、マーチャンダイジング、新たなオーディエンスの開拓など、新たな可能性を追求し、新たな戦略を試みました。私たちは、こうした利益の上に、文化芸術分野の持続可能性を向上させる多様化への努力を続ける必要があります。

芸術家のスキルの妥当性

芸術家は、デザインや建築といった関連業界だけでなく、さまざまな業界において価値のあるスキルセットを持っています。彼らの知識、洞察力、方法論は健康やビジネスなど他の分野でも応用できます。芸術と他分野との関連性を拡大することで、芸術家の将来性を向上させることもできます。したがって、私たちはエコシステムを多様化することによって、成功へのより多くの道を確認し、芸術をクリエイティブ産業にも応用できる新しい方法を見つけようと模索しています。

その戦略のひとつが、芸術産業と政府・商業界のパートナーと結びつけることです。アイデアと才能の異花授粉によって生み出される新しいコラボレーションやビジネスモデルは、クリエイティブ・セクター全体を活性化させます。

⁹文化コミュニティ青年省(2020年)(Ministry of Culture, Community and Youth (2020).)2020年シンガポール文化統計(Singapore Cultural Statistics 2020.)

アデリン・クエ(Adeline Kueh)とヘイゼル・リム(Hazel Lim) (XOX)がベルニナ(BERNINA)社とのコラボレーションでデザインした「ワイルド・シングス(wild things)」は、ネックレス、ユーティリティ・バッグのポケット、大きな猫のプリントで寅年を告げるタグやシッポなど、ステートメントアクセサリーのコレクション。このコラボレーションは、チャン+ホリ・コンテンポラリー(Chan + Hori Contemporary)がキュレーションし、「シンガポール・アート・ウィーク2022(Singapore Art Week 2022)」の期間中にショッピングモール「フナン」にて開催された「クリエイティブな交差点:寅年(Creative Intersections: In the Year of the Tiger)」の一環。

P78, P79

どのように目標に到達すべきか

重要な優先事項

新たなビジネスモデルを築く

デジタル技術の変化もさることながら、人口動態や観客の態度の変化も、芸術のエコシステムに影響を与えています。例えば、デジタル変革の加速によって芸術はより身近なものになっています。デジタルDirect-to-consumerプラットフォームの普及も、従来型メディアやビジネスモデルの常識を覆しています。

この繁栄する芸術産業をさらに発展させるためには、芸術産業が収入源を多様化し、新たな市場にアクセスできるようにすることが極めて重要です。そのためNACは、既存および新たな収益トレンドやモデルを分析し、国内で採用するためのベストプラクティスを特定するために、さまざまなアプローチを研究しています。主な分野としては、シンガポールの知的財産を商業的に発展させるためのマネタイズの方法(映画化権やマーチャンダイジングなど)や、オンライン出版や配信プラットフォームなどのデジタル技術を活用して、芸術の流通と消費を拡大する方法(電子書籍やNFTなど)などが挙げられます。

NACはまた、パートナーとの協力を継続し、文化芸術団体や芸術家と、より大きな文化芸術エコシステムにおけるクリエイターたちとの橋渡しをすべく、革新的なビジネスモデルを育成し、多様な収入ストリームを模索していきます。私たちの目標は、芸術関係者に幅広い機会を提供できるよう、高度にネットワーク化されたクリエイティブ・セクターを構築することです。共同プロジェクトを支援するため、私たちは関連パートナーと共同でプログラムを設計しています。例えば、官民のデザインやメディアセクターにおけるパートナーたちと協力して、異業種間のネットワーキングや、シンガポール文学の映画化などの製品化を推進したいと考えています。

最後に、文化芸術団体の変革とイノベーションを進めるためにも、文化芸術団体との協働をさらに進めていきたいと考えています。NACは、2022年6月に導入された「セクター変革基金」をベースに、文化芸術団体への支援を引き続き拡大することで、効率性を向上させ、新しい芸術の提供や体験を開発し、収益源を拡大し、作品やサービスに対する需要を拡大して制作の規模を拡大する新たな方策を採用します。

「シンガポールを訪れる観光客が、単に食やライフスタイルを通してシンガポールを体験するだけでなく、芸術も楽しんでくれることを期待しています!」

- ジャナ・ロー(Jana Loh)、33歳

アート・アドミニストレーター

組織変革グラントを受けて、シアター・プラクティス(Theatre Practice)は、国内外の芸術家と協力して、デジタル・パフォーマンスとライブストリームの質を高める新しいシステムを開発しました。このデジタル・シアター・ソリューションにより、芸術家たちはデジタル・アート体験を提供する際に直面する技術的なハードルを解決し、より広範な芸術コミュニティのための土壌を形成することができます。

P80, P81

芸術的卓越性の育成

文化芸術分野の成長を牽引するグループは、その卓越した芸術性によって文化芸術分野内外で新たな機会を生み出す人材コアと、多様な専門知識で業界を支える専門家や技術スペシャリストで構成されています。

NACは、文化芸術分野の人材育成に取り組み、成功する機会をもたらすような持続可能なキャリア構築をサポートしています。私たちの人材戦略では、強力な人材コアの構築とリーダーシップの育成に重点を置く予定です。私たちは、新しい人材や中堅の人材がこの分野に参入する道を切り開き、さまざまな分野におけるリーダーを育成します。

文化芸術分野は、幅広いスキルとキャリアパスを持つ多様な職種で構成されています。関係者の少なくとも3分の1は個人事業主であり、キャリアパスと昇進を支援する必要性が高まっています。今後キャリア開発に関する業界レベルのガイダンスを提供していきますが、手始めに芸術教育とテクニカル・シアター・プロダクションという2つのサブセクターにおける芸術のためのスキル・フレームワークの展開に着手する予定です。これらのサブセクターに必要なスキルの包括的ガイドとして、こういったフレームワークは、文化芸術分野での仕事の機会を探している人々や、スキルアップを望む専門家たちにとって貴重なものとなるでしょう。

さらに、高等教育機関(Institutes of Higher Learning, IHLs)や主要産業界のパートナーと協力し、キャリアアップ、技能開発・習得、キャリア移動のための道筋を提供したいと思います。また、さまざまな継続教育および研修プログラムで、既存の人材トレーニングの格差にも対処していきます。例えば、自分のペースで学べるようなモジュール式の学習リソースを開発することで、アーツリソースハブ(Arts Resource Hub, ARH)の学習と能力開発を強化したり、ピアラーニングの機会を提供したり、トレーニングプロバイダーと協力して優先的なスキルセットの新コースを立ち上げることもできます。私たちは、需要の高いデジタル・スキルを雇用前研修に組み込むとともに、芸術系IHLと引き続き協力し、芸術科卒業生がデジタル技術を身につけられるように努力します。また、組織の運営とプロセスをサポートできるテクノロジー・ソリューションをといった共有リソース一式を準備する計画もあります。さらに、テクノロジーの専門家、コンサルタント、サービス・プロバイダーのネットワークを拡大し、文化芸術分野がデジタル化の波に遅れないよう支援したいと思います。

最後に、今後はデータ収集と分析を用いて戦略に反映させていきます。私たちの目標は、キャリアのさまざまな段階を通して芸術関係者を支援し、成功への新たな道筋を見出すことです。例えば、クリエイターの移転可能なスキルを生かし、関連業界でのチャンスを見つける支援をすることなどが挙げられます。

「フレッシュで新進気鋭の芸術家のためにも、より多くの機会が与えられ、参入障壁が取り除かれることを期待しています!」

- シアン・リー (Cyann Lee)、25歳
フルタイム・アーティスト

ロー・イェン・リン (Low Yen Ling) 文化コミュニティ青年省大臣兼通商産業大臣とのエンゲージメント・セッションに参加した芸術に従事する個人事業主 (Self-Employed Persons, SEPs)。セッションでは、芸術に従事する個人事業主の継続的雇用の可能性、キャリアモビリティ、労働条件についてのアイデアを話し合いました。

P82, P83

国際化の機会の拡大

国際化を進めることは、芸術家がより幅広く国外でも認知されることにつながります。海外の市場を探索することで、芸術家や企業に新たな機会を提供しようとしています。

海外に新たな市場を求めるだけでなく、シンガポールをこの地域の重要な文化都市、ハブとして位置づけることで、最高の美術展、パフォーマンス、イベントをシンガポールに誘致することを目指しています。アジアの重要な文化芸術拠点としてのシンガポールという地位をさらに強化するために、会議や見本市など、より多くのソート・リーダーシップ・プラットフォームを特定し、設立したいと考えています。

私たちは、アート・メイキング、アート&テクノロジー、リサーチの分野における能力を強化するために、適切な国際的パートナーとのパートナーシップを強化して参ります。ユネスコ、国際美術館会議、国際アーツ協会・文化機関連盟などの国際的なステークホルダーと協力し、ソートリーダーシップを確立し、この地域における知識と専門性の構築を支援することを目指しています。

「教育や能力開発が今後も優先され、既存および未来のアート・マネージャーや専門家が将来を見据えてスキルアップできることを願っています」

- ベル・ウォン (Belle Wong)、20歳
アート・マネジメント科卒業生

「シンガポールアーツプラン(2023~2027)」にも織り込まれています。シンガポールの芸術家にとって、持続可能な収入源を確保することは特に重要です。インターネットによって国際的な聴衆にリーチすることができるこの時代、シンガポールの芸術家がどのように世界的な地位を築くことができるのか期待しています」

- ダイアナ・カン・リー (Diana Kan Lee)、29歳
女優、テクノロジー起業家

(左から) ロー・エン・ティオン (Low Eng Teong) 当時NAC副CEO、現CEO、エドウィン・トン (Edwin Tong) 文化コミュニティ青少年省大臣兼第二法相、ウテ・メタ・パウアー (Ute Meta Bauer) キュレーター、シュビギ・ラオ (Shubigi Rao) アーティスト、リー・トウン・ジーン (Lee Tung Jean) 文化コミュニティ青年省文化スポーツ担当次官、テイ・トン (Tay Tong) NAC視覚芸術ディレクター。第59回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展 (59th International Art Exhibition of La Biennale di Venezia) のシンガポール・パビリオンにて。

P84

私たちの強固な基盤

マレーダンスのパイオニア、ソム・サイド (Som Said) がホロメッシュ・プロジェクション「ルート: 伝統舞踊の多角的探求 (ROUTES: A Multi-perspective Exploration of Traditional Dance)」にてダンスを披露。シンガポールのスタンフォード・アーツ・センターにて。

P87

変化をもたらすものに注力

芸術内外の関係者と広範に協議を重ねた結果、多くのインサイトが得られました。私たちはパートナーシップ、テクノロジーとイノベーション、そしてデータとインサイトという重要な変革要素に重点を置いています。それについては、幅広いコンセンサスが得られました。

パートナーシップ

ここでは、私たちの経済と社会における芸術の価値と影響の拡大に貢献できる、より広範なクリエイティブ・セクターのパートナーの例をいくつか紹介します。

つながりのある社会

地域開発機関
ウェルビーイング
社会セクター代理店
学校

特色ある都市

不動産開発業者
開発機関
開発者
建築事務所
プレイスメイキング機関

クリエイティブエコノミー

ライフスタイル
小売
クリエイティブエージェンシー
高等教育機関
テクノロジー&ゲーム
ホスピタリティ
飲食
金融機関
財団

マヤ・ギャラリーの共同設立者兼ディレクター、マストウラ・シャアリ (Masturah Sha'ari) と語らうアルビン・タン (Alvin Tan) 文化コミュニティ青年省大臣兼通商産業大臣。アンカタン・ベルキス・アネカ・ダヤ (Angkatan Pelukis Aneka Daya) 主催の展覧会「時代を超えた架け橋 (Bridging Through the Age)」にて。

これからも、文化芸術分野を支援するネットワークをさらに広げていきます。私たちは、ビジネス、社会、コミュニティ・セクターとさらにパートナーシップを築き、文化芸術分野を盛り上げるための多様な視点と戦略を得ることを目指しています。

以下の関係者たちと、より緊密に協力したいと考えています。

+ 公的機関 - 「シンガポール・グリーンプラン2030(Singapore Green Plan 2030)」、社会家族開発省(MSF)の「イネープリング・マスタープラン2030(Enabling Masterplan 2030)」、URAの「マスタープラン」など、全国的なマスタープランと芸術部門との足並みを揃えています。

+ より幅広いクリエイティブ・セクターのパートナー - 芸術が付加価値を高める方法について、新たなつながり、相乗効果、アイデアの異花授粉を発見します。これらのパートナーには、芸術家が常識を覆すような新しいデジタル作品を開発するのを支援する企業も含まれます。

例えば、私たちはユナイテッドオーバーシーズ銀行(United Overseas Bank, UOB)、メディアコープ(Mediacorp)、マリーナベイサンズ(Marina Bay Sands)の三者とパートナーシップを結んでいます。

NAC & UOB

2022年10月、NACとUOBは3年間の覚書(MoU)を締結し、「文化芸術団体や芸術家の能力向上」、「アートの観客の増加、UOBの顧客など新たな層への芸術家の露出」、「社会的にプラスの影響を与える芸術プログラム」という3つの主要目標で協力することになりました。

このパートナーシップにおける重要な取り組みのひとつが、「芸術のためのNAC-UOBフィンラボ・アクセラレーション・プログラム(NAC-UOB FinLab Acceleration Programme for the Arts)」であり、文化芸術団体がビジネスおよびデジタル能力を強化することで成長と発展のビジョンを達成できるよう支援しています。2023年3月に開始されたこのプログラムには、文化芸術団体の代表者らが招かれ、業界の専門家から学び、ワークショップやコンサルテーションやデジタルとビジネスのコンピテンシーを構築するためのピアディスカッションに参加するなど、多くの学びを得ることができました。

NAC & メディアコープ

NACはメディアコープと3年間のパートナーシップを締結しました。このパートナーシップでは、芸術とメディアの両分野の新たなオーディエンスを開拓することを目的としています。私たちはマスメディア・チャンネルでコンテンツを共有し、親和性の高いメディア・コンテンツを提供したいと考えています。

また、ネットワーキング・セッションやワークショップといった形で、アートやメディアの専門家同士が交流する機会も増やす予定です。こうした努力が、将来的により幅広いオーディエンスに向けた新鮮なコンテンツを共創するための土台となるでしょう。

NAC & マリーナベイサンズ

NACは、マリーナベイサンズの専門知識、ネットワーク、リソースを活用するため、複数年にわたるパートナーシップを結んで、シンガポールの文化芸術分野を成長させたいと考えています。

コラボレーションの目玉は数々のアートイベントのプログラムです。例えば、マリーナベイサンズは、「シンガポール・アート・ウィーク(Singapore Art Week, SAW) 2023」のアートフェアであるART SGの会場となりました。次回のSAWでは、NACはマリーナベイサンズとの協力関係をさらに拡大し、期間中により多くの活動を計画し、シンガポールを訪れる国内外のゲストを歓迎したいと考えています。さらにNACは、芸術擁護プログラムに向けてマリーナベイサンズと連携し、シンガポールの芸術を国内外に広げたいと考えています。最後に、私たちは芸術とMICEの両分野の共通性を活かして、戦略的な機会を共同で探求することも目指しています。世界有数のコンベンション・展示会場であるマリーナベイサンズは、クリエイティブエコノミーの主要なステークホルダーが一堂に会するアート関連のソート・リーダーシップ・フォーラム、ネットワーキング・セッション、業界イベントの共同開催等において、NACを支援してくれることでしょう。

① NACとUOBの3年間のMOUの一環として、第1回UOB-NACアクセラレーション・プログラムが2023年3月14日から4月4日まで開催された。このプログラムは、文化芸術団体のデジタル、ビジネス、財務能力を強化し、成長と発展のビジョンを達成できるよう支援することを目的としている。

② (左から右) リネット・パン(Lynette Pang) NAC副CEOとメディアコープのアンジェリン・ポー(Angeline Poh) 最高顧客・経営開発部長は、地元の芸術家や文化芸術団体により多くの発表機会や支援を提供し、また異業種間のつながりと芸術専門職の新たな機会を促進することで、芸術・文化コンテンツを有効活用することを目的とした3年間のパートナーシップの調印式に出席した。

③ ART SGは、SAW 2023の一環としてサンズ・エキスポ&コンベンションセンター(Sands Expo & Convention Centre)でデビューしました。2023年から3年間、NACはマリーナベイサンズと提携し、芸術部門にさらなる支援と価値をもたらすコラボレーションを模索しています。マリーナベイサンズでは、芸術作品のインスタレーション、パフォーマンス、その他の芸術関連アクティビティなど、より充実した芸術体験ができます。

クレジット：マリーナベイサンズ

P90

テクノロジーとイノベーション

テクノロジーは、芸術活動、観客動員、芸術プログラムやサービス、さらには文化芸術分野の運営方法にますます影響力を及ぼしています。COVID-19の流行といった外的要因も、文化芸術分野のデジタル化や観客との新しい関わり方への転換をもたらしました。私たちは、テクノロジーの活用方法を探求しながらも、利益を確保しなければなりません。

今後5年間、NACはテクノロジーの探求と導入を実践し、新たな機会の活用を活かし、芸術とテクノロジー間の継続的なイノベーション、学習、コラボレーションを奨励していきます。また、「Arts x Tech Lab 1.0」への皆さまからの関心と成功をもとに、この分野での実験の場をさらに提供して参ります。2023〜24年からは、「Performing Arts x Tech」に焦点を当てる予定です。

また、業界全体の技術インフラを開発することによって、芸術業界を支援していきます。その一例が、シンガポールの文化芸術イベントを集約したワンストップ・コンテンツ、イベント一覧、予約プラットフォームの立ち上げです。「Catch」と呼ばれるこのプラットフォームは、ユーザーが今後のプログラムやアクティビティを一目でチェックしたり、好みのイベントを検索して絞り込んだり、チケットを予約したりすることができます。芸術への関心を持続させ、芸術鑑賞を促進することを目的にローンチしました。ユーザーにパーソナライズされたおすすめコンテンツを提供し、文化活動においてターゲットを絞ったマーケティングを実現するツールです。

「Catch」から観客のインサイトを収集し、それを文化セクターの関係者と共有することで、観客をよりよく理解し、関与させ、成長させることができます。小規模な文化芸術団体や芸術家は、自分たちの取り組みを「Catch」から無料で宣伝することができます。

最後に、文化芸術分野が環境の持続可能性にも貢献できるよう、NACは文化芸術分野に応用可能なベストプラクティスを研究し、芸術プロセスや制作における意識と持続可能性をさらに強化したいと考えています。これらのガイドラインを導入することで、より持続可能な慣行を採用するよう、芸術コミュニティ内のイノベーションを促したいと考えています。

①あらゆる芸術と文化に関するパーソナルガイド、「Catch」のホームページのベータ版。ユーザーの好みに合わせたキュレーションリストを提供することで、文化芸術体験がもっと身近になるでしょう。

②第1回の「Arts x Tech Lab 2021」のショーケースにて、Tusitala社は没入型技術を用いた図鑑のデジタル体験のベータ版を発表しました。

P93

データとインサイト

データや実証的なエビデンスは、芸術のために重要なインサイトを提供してくれます。これらを活用することで、私たちの計画や政策をより効果的に影響力のあるように設計することができます。例えば、データは芸術に対する一般の人々の認識、観客の嗜好、国際市場を理解するのに役立ちます。また、私たちが芸術の提唱者になってくれます。芸術が都市生活、健康、教育、コミュニティ形成に与える影響に関するデータは、芸術の公共的価値を証明する強力なエビデンスとなります。また、データを示すことで、政策立案者、資金提供者、そして一般市民が、芸術の多面的な貢献を理解することもできます。

過去4年間、NACは600万ドル以上を投じて「芸術に関する人口調査」や「文化芸術雇用調査」などの調査を委託しています。「シンガポール文化統計」を併せて分析することで、芸術がシンガポール国民に与える影響や、文化芸術分野の状況を評価することができます。私たちは、芸術コミュニティと共有することを目指し、貴重なデータのインサイトを得るための調査とインフラにさらに投資する予定です。

近い将来、芸術に従事する個人事業主(Self-Employed Persons、SEPs)や文化芸術団体を対象とした「データ・インサイト・クリニック(Data Insights Clinics)」の開設を目指しています。このセッションで参加者は、芸術に関する人口調査から、観客層の関心や認識、オンラインおよびオフラインでの芸術への関与のレベルに関する最新の調査結果を知ることができます。このようなインサイトは、さまざまな観客層向けの芸術プログラムを開発する際の指針となります。

今後5年間はさらに多くの資金を投入し、3つの戦略の柱をさらに推進するための研究を行う予定です。「人々、コミュニティ、空間に対する芸術の影響を測定する方法」、「観客を理解し、増やす方法」、「芸術とテクノロジーの最新開発」など、さまざまな研究分野に優先的に取り組む計画です。

デジタル・フィードバック・フォームに記入することで、誰でもアーツプランについての意見を投稿することができます。
クレジット: Island Boys

P94

まとめ

「シンガポール国際芸術祭2023(Singapore International Festival of Arts 2023)」で上演された「インターミッション(Intermission)」は、タイの伝統音楽とコンテンポラリーダンスを組み合わせ、ダンスが持つ社会政治的なパワーを表現しました。

クレジット: Arts House Limited

P96, P97

芸術は私たちみんなのものです。

そして、芸術もまた私たちに恩恵を与えてくれます。

芸術は私たちみんなのものです。観客、参加者、活動家、後援者、パートナー、それがどんな形であっても、私たちは文化芸術分野に貢献し、その活気とエネルギーを高めている一員です。そして、芸術もまた私たちに恩恵を与えてくれます。芸術は私たちの心に触れ、元気づけ、私たち個人およびコミュニティとしてのアイデンティティを根付かせてくれます。また、日常的な環境に刺激を与え、身近な街を象徴的で特徴的なものにしてくれます。私たちは、芸術と文化を大切に保存することで、現在の世代が豊かな人生を送ることができるよう、未来の芸術愛好家やパトロンを育てたいと願っています。

文化芸術分野は、その集団的所有意識が高まれば高まるほど、より豊かで多様なものになります。だからこそ私たちは、芸術へのさらなる幅広い参加と支援を奨励し、その影響を社会全体に広げることを目指しています。

「シンガポールアーツプラン(2023-2027)」は、シンガポール国内外から16,500人を超える芸術内外の関係者の幅広い視点に基づいて策定されています。これらの取り組みにより、今後5年間、パートナー、利害関係者、一般市民とともに計画をさらに共同作成していくための強力な土台が完成しました。

芸術の発展のためのロードマップとして、「シンガポールアーツプラン(2023~2027)」とその3つの戦略の柱は、政策、プログラム、および芸術の卓越性と関与をもたらすパートナーシップの優先事項を形作るものです。

私たちは、つながりのある社会に根ざした特色ある都市とクリエイティブエコノミーという私たちの目標を発展させるために、みなさんがこのプロジェクトに参加することを歓迎します。シンガポールにおける芸術の発展には、集団行動、パートナーシップ、協力が必要であり、その結果、私たち全員が恩恵を享受することになるでしょう。

シルバーアーツ2021(Silver Arts 2021)の一環として行われたマヤ・ダンス・シアター(Maya Dance Theatre)による『Shake a Leg Tea Dance』は、1920年代のノスタルジックな雰囲気と、恋愛やデートの思い出を呼び起こすデジタル・パフォーマンスだった。

クレジット: 10:10 Media Productions

P98

補遺: 成果を積み重ねて

P100, P101

シンガポールアーツプラン(2018～2022)の実績評価

本プランは、NACが芸術コミュニティやシンガポール人たちとともに歩んできた道のりを示すものであり、文化芸術分野を発展させるための指針となります。

3つの戦略の柱

人々を鼓舞する

シンガポールの人々は、優れた芸術を創造し、発表し、鑑賞する権利がある

地域社会をつなぐ

多様なコミュニティが一体となって芸術を楽しみ、支援する

世界におけるシンガポールの地位確立

芸術・文化のアイコンや作品が、国内外の観客や批評家から高く評価されている

8つの戦略的優先事項

1.シンガポールの芸術をリードし、擁護するNACの役割を強化

2.増大する観客への注力を強める

3.文化芸術分野における多様な能力の構築

4.フリーランスの芸術家に対するセクター全体での支援

5.芸術制作とアウトリーチ活動を向上させるためのテクノロジーの活用

6.文化芸術分野における研究の強化

7.芸術が社会に与える影響を最大化するためのプログラム・デザインの強化

8.シンガポールの芸術を国外へ

ハイフン・プロジェクト(Hyphen Projects)は、ショッピングモールの「デザイン・オーチャード」で「ノン・シーズン(The Non Season)」を発表しました。これはシンガポール政府観光局(Singapore Tourism Board)とNACがギルマン・バラックス、オーチャード・ロード、リトル・インディア、チャイナタウンといった主要地区で委託した一連のビジュアル・アート・インスタレーションとプログラムである「アート・アラウンド・ザ・シティ(Art Around The City)」の一環です。「ノン・シーズン」は、メイ・レオン(May Leong)、ベッカ・デュバス(Becca d'Bus)、ボビー・ルオ(Bobby Luo)の3人がキュレーションを担当し、ディーバ・アガー(Diva Agar)やマスリ・マズラン(Masuri Mazlan)といったさまざまな芸術家をフィーチャーしました。

クレジット: Hyphen Projects

P102, P103

1 シンガポールの芸術をリードし、擁護するNACの役割を強化

+ 小規模な文化芸術団体への寄付を奨励する「芸術の持続(Sustain the Arts, stART)基金」を通じて芸術支援を拡大。

+ 助成金や手頃な共有スペースを提供することで芸術インフラを整え、店舗スペースにて文化芸術団体の共同設置を促進。

+ 芸術家やシンガポール政府観光局、人民協会(People's Association)、NParksといった文化機関と協力し、SAWや、シンガポール作家祭(Singapore Writers Festival, SWF)などの最高峰のプラットフォームを企画。

+ 「私たちの文化勲章物語(Our Cultural Medallion Story)」をスタート(文化勲章受章者を称え、その功績を称えることを目的としたザ・アーツハウスでのショーケース)

2 成長する観客への注力を強める

+ 助成金やプログラムを通じ、物理的、デジタル、ハイブリッドなど多様な形式のプログラムを支援し、芸術家やエージェンシーとのパートナーシップによりパブリック・アート作品を委嘱。

+ MOEおよび主要機関と協力し、若い学生たち向けの美術館・芸術ベースの学習プログラムを導入。

+ 伝統芸術の発展を支援し、アウトリーチを拡大するために、スタンフォード・アーツ・センター(Stamford Arts Centre)等の芸術活動スペースを再開発。

+ ArtsInYourNeighbourhoodやシルバー・アーツ(Silver Arts)など、さまざまな観客層に対応したプログラムを提供。

3 文化芸術分野における多様な能力の構築

+ 国内外のレジデンスを支援し、デジタル技術、起業家精神、観客育成などの主要分野のトレーニングを導入。

+ 国立教育研究所(National Institute of Education)とのパートナーシップを継続し、芸術教育者にデジタル・スキルと観客育成スキルを習得させる。

+ シンガポール国際芸術祭やSWFの主催者であるArts House Limitedなど、仲介者たちにも多様な役割を与えた。

+ 学校における芸術教育者の能力を向上させ、芸術分野全般での早期教育を深める。

4 フリーランスの芸術家に対するセクター全体での支援

+ ARHを設立し、芸術に従事する個人事業主に求人ポータル、トレーニングディレクトリ、持続可能な活動のためのコワーキングスペースへのアクセスなどのリソースを提供。

+ 1,400人以上の個人事業主に働きかけ、個人事業主コミュニティ内の仲介能力とリーダーシップを構築しながら、法的・財政的アドバイスを提供する講演会やワークショップを開催。

+ NTUC e2i(雇用適正協会:Employment and Employability Institute)と提携し、芸術・文化セクターのためのバーチャル・キャリアフェアを共同で開催し、200件以上の求人情報を紹介。

+ 個人事業主の能力を開発し、その芸術活動を継続させるため、多様な個人事業主をプロジェクトに参加させた。

①エドウィン・トン(Edwin Tong)文化コミュニティ青年省大臣兼第二法相と、1987年の文化勲章受章者ソム・サイード(Som Said)。ザ・アーツハウスで開催された「私たちの文化勲章物語(Our Cultural Medallion Story)」発表会にて。

②ナショナルギャラリーシンガポール主催、NAC後援による「博物館を活用した学習(Museum Based Learning)(美術)プログラム」の一環として行われた現地ツアーにて、リウ・カン(Liu Kang)の「川辺の生活(Life by the River)」についてファシリテーターの説明を聞く学生たち。
クレジット:ナショナルギャラリーシンガポール

③シンガポール国際芸術祭2022で上演されたエカマトラ・シアターによる「バンサワン・ジェマラ・マラム(Bangsawan Gemala Malam)」は、シェイクスピアの名作『真夏の夜の夢』を、バンサワンオペラやヌサンタラに着想を得て現代風にアレンジしたもの。この作品は、STライフ・シアター・アワード2023で最優秀演出家賞、最優秀衣装賞、最優秀男優賞を受賞しました。

クレジット:Arts House Limited

④2022年9月、ARHコネクツ(ARH Connects)は会場でのセッションを再開し、個人事業主助成金および組織変革グラントの受給者と芸術個人事業主らが一堂に会し、ネットワークを構築し、さまざまなトピックについての意見を共有する場を提供しました。

P104, P105

5 アート制作とアウトリーチ活動を向上させるためのテクノロジーの活用

+ 主要機関と提携し、さまざまなデジタル・ツールにおける業界の能力と専門知識を深める。

+ より多くの場所で観客に芸術体験を提供するため、バスカー向けのEサービス・ポータルを開始。

+ 第1回目の「Arts x Tech Lab 2021」に向けて、8カ月間にわたり10件のプロジェクトをインキュベート。芸術的実践を再考し、観客の参加を促す創造的なテクノロジーの活用を探索。

+ 観客が文化芸術イベントを検索できるワンストップ・デジタル・プラットフォームを開発。

6 文化芸術分野における研究の強化

+ 観客とその消費パターンについての理解を深めるために、様々な芸術形態に特化した調査を委託。

+ 芸術文化研究シンポジウムを開催し、研究者や芸術家のネットワークやコミュニティを形成。

+ 月刊の研究ニュースレターを発行。また、文化社会青少年省の一部門であるカルチャーアカデミー(Culture Academy)と協力し、芸術コミュニティの活動を支援するために必要な情報を提供。

+ シンガポール・オンライン・アーツ・リポジトリ(Singapore Online Arts Repository)を通じて、著名な芸術家の紹介や美術史の記録など、リサーチやドキュメンテーションの取り組みを強化。

7 芸術が社会に与える影響を最大化するためのプログラム・デザインの強化

+ 新たに「アート・アンド・カルチャー・ノード(Art and Culture Nodes)」を設立し、十分な支援が行き届いていない地域社会を含む、より広範な地域社会を巻き込むためのパートナーシップを強化。「ウィークケアアーツ(WeCare Arts)」等の取り組み等が挙げられる。

+ 初等・中等教育家庭と芸術をよりよく統合することを目指し、NAC芸術教育プログラムを見直し。

+ コミュニティ・エンゲージメントに関するケース・スタディ、ビフレンダーズ・アーツ・ツールキット(Befrienders Arts Toolkit)、芸術コミュニティのベスト・プラクティスを紹介するリソースを出版。

+ ボランティアやコミュニティ・ネットワークとのパートナーシップを拡大・浸透させ、支援が行き届いていないコミュニティにアクセスし、芸術体験を通じて人々の生活を豊かにする。

8 シンガポールの芸術を国外へ

+ ヴェネチア・ビエンナーレのシンガポール・パビリオンなど、主要な国際的プラットフォームにおいて、著名な芸術家に委嘱し、その作品を紹介。

+ オーストラリア・カウンシル(Australia Council for the Arts)、ブリティッシュ・カウンシル(British Council)、アーツカウンシル・コリア(Arts Council Korea)、在シンガポールフランス大使館との国際的パートナーシップやMoUを通じて、アーティスト間の文化交流を促進。

+ エジンバラ国際文化サミット(Edinburgh International Culture Summit)、ユネスコ(UNESCO)、国際アーツカウンシル・エージェンシー連盟(International Federation of Arts Councils and Culture Agencies)が主催するプラットフォームにて、シンガポールの文化政策におけるソートリーダーシップを紹介。

+ キュンストラハウス・ベタニエン・レジデンシー(Künstlerhaus Bethanien Residency)、NAC- METインターナショナル・アーティスト・レジデンシー(NAC- MET International Artist Residency)、セメティ・芸術社会研究所インターナショナル・レジデンシー(International Residency at Cemeti Institute for Art and Society)などのレジデンシーを通じ、芸術家が東南アジアやヨーロッパの一流文化都市で活動を深め、ネットワークを広げることを支援。

①第1回の「Arts x Tech Lab 2021」のショーケースにて、バーチャルリアリティを体験する来場者たち。

② 毎年開催される「芸術文化研究シンポジウム(Arts and Culture Research Symposium)」は、芸術研究の多様性を認識させ、芸術活動家と研究者がアイデアを議論する場となっています。
クレジット: Institute of Policy Studies

③NACのネットワークである「アート・アンド・カルチャー・ノード(Arts and Culture Nodes)」のひとつであるコミュニティセンター「アウ・タンピネス・ハブ(Our Tampines Hub)」で開催された「ロアの才能(Roar Talents)」。
クレジット:Yu Khing Po

④マルク・アベンスール(Marc Abensour)元在シンガポールフランス大使
ローザ・ダニエル(Rosa Daniel)前NAC CEO。2022年のMoU調印式では、文化芸術機関による視覚芸術、文学、舞台芸術の分野における二国間のアーティスト・イン・レジデンス・プログラムの創設を支援することで合意しました。

P106, P107

COVID-19の流行における文化芸術分野への支援

2020年～2021年にかけてのCOVID-19の流行中、芸術は人々に希望の灯をともしために不可欠な役割を果たしてくれました。NACの継続的な取り組みに加え、芸術文化レジリエンスパッケージ(Arts Culture Resilience Package, ACRP)を通じて、総額7,500万ドルが拠出され、芸術・遺産セクターの支援を継続して参りました。これらの取り組みには以下が含まれます：

+ ACRP運営助成金、会場使用料助成金、レンタル料免除などを活用して、生活費用の維持、人材の確保、運営費の負担軽減に取り組む。

+ 「芸術のための能力開発スキーム(Capabilities Development Scheme for the Arts, CDSA)」を通じて、芸術家をスキルアップさせ、ニューノーマルの時代に対応できるスキルを身につけさせる。

+ デジタル・プレゼンテーション助成金(Digital Presentation Grant, DPG)、委託業務、パートナーシップ等を通じてデジタル化への取り組みを支援・強化し、人々がいつでもどこでも文化芸術を楽しむことができるようにする。

+ 組織変革グラント(Organisation Transformation Grant, OTG)と個人事業主助成金(Self-Employed Person Grant, SEPG)を通して、COVID-19の流行後の復興に向けてセクターの地位を確立する。

2022年3月現在、ACRPの支援を通じて。

+ 240以上の芸術、遺産、クリエイティブ団体が、ACRP運営助成金の恩恵を受けた。

+ 能力開発、デジタル化への取り組み、個人事業主主導のプロジェクト、NACからの委託事業等により、文化芸術団体や芸術家に18,000件以上の雇用および研修の機会が創出された。

+ デジタル化ファンド(Digitalisation Fund)、DPG、CDSA、SEPG、OTGといった取り組みを通じて2,300件以上のプロジェクトを支援。

+ 芸術家や文化施設が制作した新しいデジタル・アート・プログラムを取り上げた「#SGCultureAnywhere」の開始以来、4,400万回以上の視聴が達成。キャンペーンの一環として、私たちは主要パートナー15社と協力し、コンテンツの委託制作と運営を行った。

① 芸術文化レジリエンスパッケージ(Arts and Culture Resilience Package, ACRP)の支援を受けて開催された「ストリート・オブ・ホープ(Streets of Hope)」は、シビック地区の通り沿いで開催されたシンガポールの芸術家のイベントとしては初めての試みであり、最大規模のイベントとなりました。シンガポールの芸術家367人によるオリジナル・アート作品が展示されました。かつて経験したことがないような時間を共有することで、シンガポール人たちの気持ちを高めました。

② 組織変革グラントの支援を受けて、ダンスカンパニーの「スリワナ(Sriwana)」は新しいデジタルの可能性を模索し、変化する聴衆の嗜好や需要に対応するため、物理的、デジタル、ハイブリッドといったさまざまなプラットフォームでプログラムを刷新しました。

P108

QRコードをスキャンして、「シンガポールアーツプラン(2023～2027)」にアクセス

ウェブサイト：

独立行政法人 日本芸術文化振興会 委託事業
シンガポールにおける文化芸術活動に対する支援をはじめとする文化振興方策等に関する実態調査
別冊 関連文献

シンガポールアーツプラン 2023－2027

令和6年5月
Nomura Research Institute Singapore Pte. Ltd.